

# (仮) Team SUGE 地ケア プロジェクト

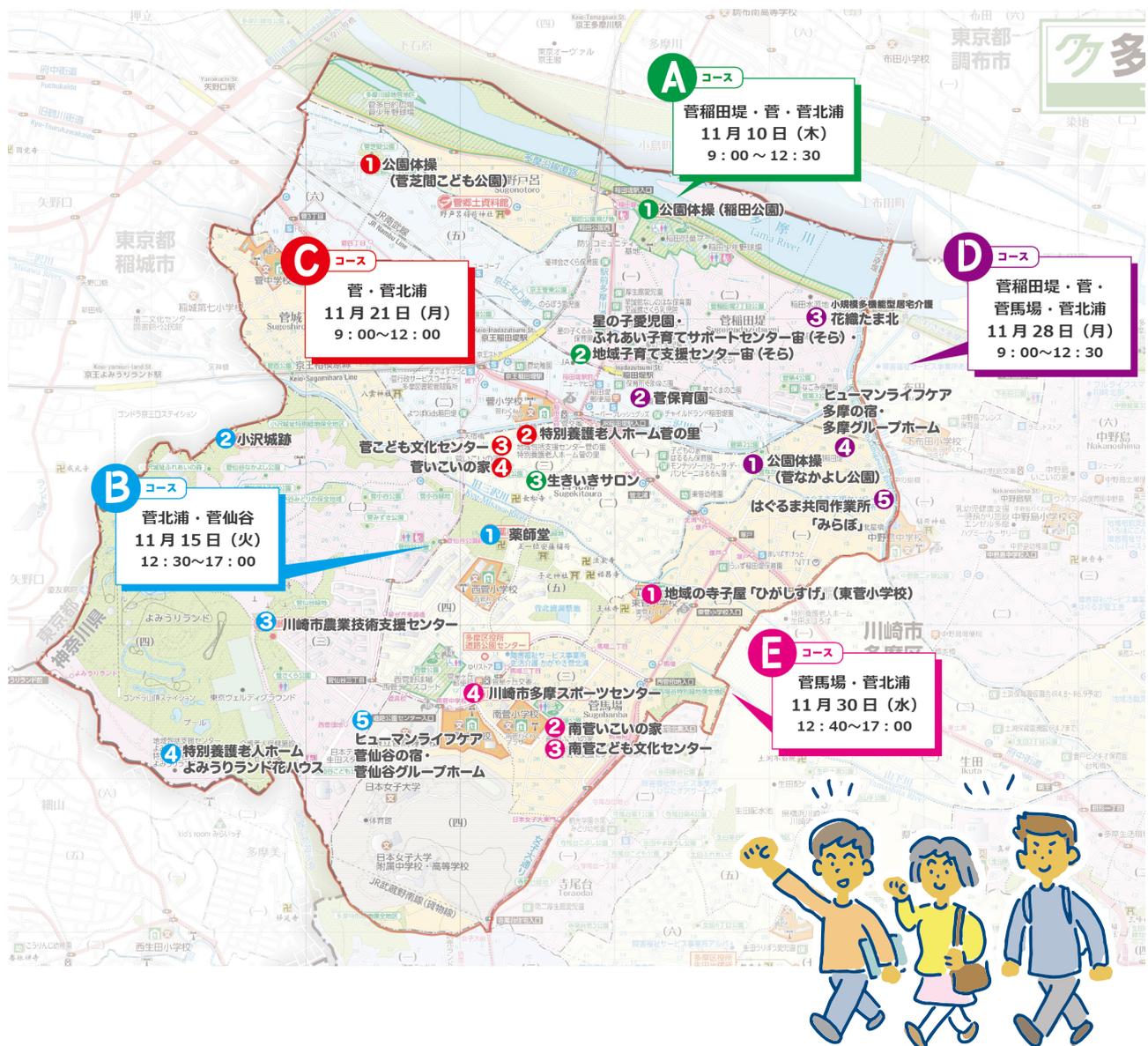
## 現地ツアー—ふり返りシート—のまとめ

### 現地ツアー概要

実施日 : 令和4(2022)年11月10、15、21、28、30日

参加人数: 86名(延べ参加者数、川崎市職員・スタッフ含む)

訪問先数: 21箇所



# 目次

ふり返しシートのご意見のまとめ .....	2
1) 訪問先について、良いな!と思ったこと .....	2
2) 訪問先の活動/団体は、どんなことに困っていた? .....	6
3) どんなつながりや取組があれば、訪問先の活動がより豊かになりそう? .....	9
<b>A コース .....</b>	<b>13</b>
公園体操 (稲田公園) .....	13
星の子愛児園 .....	15
生きいきサロン .....	17
<b>B コース .....</b>	<b>20</b>
薬師寺 .....	20
小沢城址公園 .....	21
川崎市農業技術支援センター .....	22
特別養護老人ホームよみうりランド花ハウス .....	24
ヒューマンライフケア 菅仙谷の宿・菅仙谷 グループホーム .....	26
<b>C コース .....</b>	<b>28</b>
公園体操 (菅芝間こども公園) .....	28
特別養護老人ホーム菅の里【菅の里 庭づくりプロジェクト】 .....	28
菅こども文化センター .....	30
菅いこいの家 .....	32
<b>D コース .....</b>	<b>34</b>
公園体操 (菅なかよし公園) .....	34
菅保育園 .....	36
花織たま北 .....	38
ヒューマンライフケア 多摩の宿・多摩グループホーム .....	40
はぐるま共同作業所「みらぼ」 .....	42
<b>E コース .....</b>	<b>45</b>
寺子屋ひがしすげ .....	45
南菅こども文化センター .....	47
南菅いこいの家 .....	50
川崎市多摩スポーツセンター .....	51

# ふり返しシートのご意見のまとめ

まとめの読み方

各コース終了後、参加者のみなさまにご記入いただいた「ふり返しシート」のご意見のポイント（要点）をまとめて、テーマ別に整理しました。

大テーマ	
テーマ	●ふり返しシートのご意見のポイント [訪問先]

## 1) 訪問先について、良いな！と思ったこと

活動の効果・雰囲気について	
参加者の居場所・つながりづくりや、安心・安全に寄与している	<ul style="list-style-type: none"> <li>●気軽に話したりと、地域との交流が生まれ、参加者の居場所として機能していること [公園体操（稲田公園）]</li> <li>●健康促進や安否確認だけではなく、情報交換や声かけを通じて関係づくりができています [公園体操（菅なかよし公園）]</li> <li>●安全な帰宅ルートのマップ作成や、駆け込める場所などに、子どもの安心・安全を推進している [南菅こども文化センター]</li> <li>●子どもたちの家と学校以外の、「素」でいられる居場所になっている [寺子屋ひがしすげ]</li> <li>●徒歩圏内で行ける交流の場として、地域の高齢者にとってアットホームな場となっていること [生きいきサロン]</li> <li>●先生同士のつながりづくりになっている [寺子屋ひがしすげ]</li> <li>●将棋という趣味を通じた集まりがある [花織たま北]</li> </ul>
気軽に利用しやすい、雰囲気が良い	<ul style="list-style-type: none"> <li>●いつでも誰でも飛び入りで参加できる雰囲気 [公園体操（菅なかよし公園）]</li> <li>●一時保育や学童等の子育ての中の様々なニーズにも専門的に対応でき、地域に開かれた施設として、気軽に利用しやすいこと [星の子愛児園]</li> <li>●スタッフの知識や経験や豊かで、雰囲気が温かい [菅こども文化センター]</li> <li>●明るい雰囲気や無理のない運動で、参加への敷居が低く、誰でも参加しやすいこと [公園体操（稲田公園）]</li> </ul>
楽しそう	<ul style="list-style-type: none"> <li>●9月の獅子舞お披露目会、子ども相撲大会では活気に溢れ、地域に親しまれていること [薬師寺]</li> <li>●よみうりランドに隣接しているため、施設にいながら賑わいを感じられること [よみうりランド花ハウス]</li> <li>●花壇や畑での活動を通じて、楽しく取り組みが行われていること [特別養護老人ホーム菅の里]</li> <li>●参加者が楽しそうで、健康促進や活動自体の意義を感じられる活動になっていること [公園体操（稲田公園）]</li> </ul>

## 1) 訪問先について、良いな!と思ったこと

	<ul style="list-style-type: none"> <li>●子どもたちが楽しく過ごしながらか成長できる設備や試みが充実し、園に活気があること [星の子愛児園]</li> <li>●子どもたちが元気 [菅保育園]</li> </ul>
参加者が得意分野やスキルを活かせる場	<ul style="list-style-type: none"> <li>●住民が先生になることもあり、得意分野を活かせる場や生きがいづくりになっている [寺子屋ひがしすげ]</li> <li>●利用者がいきいきと、目標と自信をもって、個性を活かして仕事している [はぐるま共同作業所「みらぼ」]</li> <li>●利用者の作品が販売されていること [はぐるま共同作業所「みらぼ」]</li> <li>●運営側も勉強したり、自身のスキルを活かしたりと、楽しく生きがいとして参加していること [生きいきサロン]</li> </ul>
<b>取組内容について</b>	
専門性を活かしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>●栄養士や看護師、多摩区以外の住民など、様々なボランティアが互いに協力していることが強み [生きいきサロン]</li> <li>●生活支援コーディネーターなどの専門家が、困りごとの相談に乗ってくれる [花織たま北]</li> <li>●肥料を工夫していたり、プランターの活用を検討していたりと勉強になったこと [川崎市農業技術支援センター]</li> </ul>
他団体の連携を活かしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>●プロスポーツとの連携が進んでいる [川崎市多摩スポーツセンター]</li> <li>●わくわくプラザとの連携が取れている [寺子屋ひがしすげ]</li> <li>●建物内のこども文化センターと近くの地域包括支援センターとの交流や関係性があること [菅いこいの家]</li> <li>●建物内のこども文化センターと交流があること [南菅いこいの家]</li> <li>●施設に野球選手や交響楽団が来訪してくださること [よみうりランド花ハウス]</li> </ul>
多世代交流に取り組んでいる	<ul style="list-style-type: none"> <li>●e スポーツなどを通じて、子どもが大人に教えるなどの多世代交流に取り組んでいること [南菅こども文化センター]</li> <li>●子どもが地域の大人や高齢者と交流して顔見知りになるきっかけになっている [寺子屋ひがしすげ]</li> <li>●多世代交流などの取組がコロナ前には行われていたこと [菅保育園]</li> </ul>
地域とのつながりづくりを大切にしていること	<ul style="list-style-type: none"> <li>●お祭りやイベントを通して、地域に発信していること [ヒューマンライフケア/菅仙谷]</li> <li>●地域住民とのつながりや交流を大切にしていること [ヒューマンライフケア/多摩]</li> <li>●地域とのつながりがあり、地域イベント等に積極的に参加していること [川崎市]</li> </ul>

## 1) 訪問先について、良いな!と思ったこと

	<p>多摩スポーツセンター]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●<b>地域とつながる仕掛け</b>が建物のハード面と取組のソフト面の両面で取り入れられている [はぐるま共同作業所「みらぼ」]</li> <li>●<b>地域に根差して活動</b>しており、それが強みであると感じた [星の子愛児園]</li> <li>●<b>住民にアンケート</b>を取ってテーマとしたり、<b>地域の専門家等と交流</b>をしたりと、地域との関係構築に積極的なこと [特別養護老人ホーム菅の里]</li> </ul>
<b>運営について</b>	
活動の方針・考え方に共感	<ul style="list-style-type: none"> <li>●共生社会の理念が良い [はぐるま共同作業所「みらぼ」]</li> <li>●誰でも公平に学ぶことができる [寺子屋ひがしすげ]</li> <li>●地域社会のニーズに柔軟に対応するという方針があること [花織たま北]</li> <li>●園長の保育理念が保育士全体に行き届いていると感じた [星の子愛児園]</li> </ul>
人をうまく巻き込んでいる	<ul style="list-style-type: none"> <li>●庭プロジェクトは施設外の人々も巻き込んでおり、参加者も定着していること [特別養護老人ホーム菅の里]</li> <li>●<b>利用者が施設の運営・企画に主体的に関わる仕組み</b>がある [菅こども文化センター]</li> <li>●利用者の<b>ニーズに沿って管理運営</b>がされている [菅いこいの家]</li> <li>●区の講座を受けた<b>地域住民が中心になって運営</b>していること [公園体操 (菅なかよし公園)]</li> <li>●地域の既存のイベントを活用して<b>参加者を募ったり</b>、緑化センターに依頼したりと、効果的な手法で進めていること [特別養護老人ホーム菅の里]</li> </ul>
活動内容・サービスが充実している	<ul style="list-style-type: none"> <li>●講座やサービスが充実している [南菅いこいの家]</li> <li>●子どもに限らず、大人も<b>卓球</b>などに利用できること [南菅こども文化センター]</li> <li>●保育園による<b>絵本の貸し出し</b>があって良い [菅保育園]</li> <li>●買い物ができるよう<b>移動販売</b>を取り入れるなど、入所者の楽しみをつくっていること [ヒューマンライフケア/菅仙谷]</li> <li>●<b>防災訓練、パンの移動販売や行事</b>など、コロナ禍でも入居者が楽しめる行事や企画を実施している [ヒューマンライフケア/多摩]</li> <li>●園児による<b>野菜づくり</b>が行われていること [菅保育園]</li> <li>●敷地内の畑で子どもと<b>野菜を栽培し、みんなで食べる</b>機会をつくっていること [南菅こども文化センター]</li> <li>●園内で育てた<b>野菜や花木を購入</b>できること [川崎市農業技術支援センター]</li> </ul>
施設・活動が利用されている	<ul style="list-style-type: none"> <li>●稼働率が高いこと [菅いこいの家]</li> <li>●<b>利用者が多い</b>ことが印象的 [川崎市多摩スポーツセンター]</li> <li>●利用者<b>拡大に向けた独自の取り組み</b>が活発 [菅こども文化センター]</li> </ul>

## 1) 訪問先について、良いな!と思ったこと

	<ul style="list-style-type: none"> <li>●中高生が勉強の場として活用されている [南菅こども文化センター]</li> <li>●利用団体の活動が活発で、充実・自立している [南菅いこいの家]</li> </ul>
活動を継続していること	<ul style="list-style-type: none"> <li>●継承されてきた歴史を感じられること [薬師寺]</li> <li>●継続的に活動していること [公園体操 (稲田公園)]</li> </ul>
<b>施設について</b>	
地域に開放された利用しやすい設備がある	<ul style="list-style-type: none"> <li>●打合せや集まることができる部屋がある [菅こども文化センター]</li> <li>●多目的スペースを地域に貸し出していること [はぐるま共同作業所「みらぼ」]</li> <li>●地域の誰でも無料で利用できる地域交流スペースがあること [花織たま北]</li> <li>●無料で地域に開放され、ピクニックをしたり散歩したりと園内を自由に散策できること [川崎市農業技術支援センター]</li> <li>●利用料金が安く、長時間利用できて、利用しやすい [川崎市多摩スポーツセンター]</li> </ul>
設備が充実している	<ul style="list-style-type: none"> <li>●懐かしいジュークボックスがあり、楽しそう [花織たま北]</li> <li>●活用の可能性がある広い庭を所有していること [特別養護老人ホーム菅の里]</li> <li>●屋内外に多種目の専門的な施設・設備が充実している [川崎市多摩スポーツセンター]</li> <li>●新しい施設が綺麗。屋上があり、食事もできる [はぐるま共同作業所「みらぼ」]</li> <li>●部屋が多くて充実していること [菅いこいの家]</li> <li>●利用できるスペースが多様 [南菅いこいの家]</li> <li>●公園内にはベンチが置かれ、休憩スペースとして利用できそうなこと [小沢城址公園]</li> <li>●立地が良い [菅保育園]</li> </ul>
みどり・自然、歴史・文化に触れられる、環境が良い	<ul style="list-style-type: none"> <li>●住宅地の近くで、豊かな自然を味わえること [小沢城址公園]</li> <li>●敷地が広く、地域交流スペースや、地域に開放されたヒーリングガーデンなど、立派な設備があり、環境が良いこと [よみうりランド花ハウス]</li> <li>●子どもが来て遊び、運動、学び、交流できる良い環境 [南菅こども文化センター]</li> <li>●多くのみどりがあり、地域に園庭が開放されていて、敷地が有効活用されている [菅保育園]</li> <li>●緑が多く、施設から若者の姿をみることができ環境であること [ヒューマンライフケア/菅仙谷]</li> <li>●様々な農作物や花木等の姿や、広々とした景色を楽しめること [川崎市農業技術支援センター]</li> <li>●歴史上の合戦の舞台が菅にあること [小沢城址公園]</li> </ul>

## 2) 訪問先の活動／団体は、どんなことに困っていた？

交流やつながりが少ない（個人、世代間、地域との、団体同士の）	
コロナ禍による交流が減少している	<p><u>子どもの交流</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ コロナによって、子ども（とくに低学年）の人と接する力が影響されている [寺子屋ひがしすげ]</li> <li>▶ コロナ以降、子どもの怪我が増えている [南菅こども文化センター]</li> <li>▶ コロナ以降、子ども同士で食事ができない [南菅こども文化センター]</li> </ul> <p><u>シニアの交流</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ コロナ禍による人数制限や行事の中止により交流の機会が減少している [菅いこいの家]</li> <li>▶ コロナ禍で、体操後の交流ができていない [公園体操（菅なかよし公園）]</li> <li>▶ すげカフェの休止により、立ち寄る場が減ってしまった [特別養護老人ホーム菅の里]</li> </ul> <p><u>世代間の交流</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ コロナ以前に行えていた世代間交流の取組が実施できていない [菅保育園]</li> </ul>
コロナによって活動が実施できていない	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ コロナの影響で相撲大会が開催できていないこと [薬師寺]</li> <li>▶ コロナで利用団体の活動が減ってしまっている [南菅いこいの家]</li> </ul>
コロナによる利用者が減少している	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ コロナによって参加者が減ってしまった [公園体操（菅なかよし公園）]</li> <li>▶ コロナで利用者が減少しているが回復している [川崎市多摩スポーツセンター]</li> <li>▶ コロナ禍で利用者（とくに中高生）が減少している [菅こども文化センター]</li> <li>▶ コロナ禍で利用の制限をかける必要があること [川崎市多摩スポーツセンター]</li> <li>▶ コロナ禍における施設管理・運営の工夫が必要 [菅いこいの家] [菅こども文化センター]</li> </ul>
参加者・利用者がいない（コロナに関係なく）	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 男性や若いシニアの参加が少ない [公園体操（菅なかよし公園）]</li> <li>▶ 男性参加者が少ないこと [公園体操（稲田公園）]</li> <li>▶ 工夫しながら施設運営をしている [はぐるま共同作業所「みらぼ」]</li> </ul>
孤立が心配	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ コロナ禍で来られなくなってしまった利用者のケアが心配 [南菅いこいの家]</li> </ul>
地域とのつながりが築けていない	<p><u>コロナ禍による影響</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ コロナの影響で、地域の方々との交流が変化した [よみうりランド花ハウス]</li> <li>▶ コロナ禍で地域との交流や連携が行えていない [ヒューマンライフケア／多摩]</li> </ul> <p><u>つながりが築けていない</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ スタッフが他地域から通っているため、地域との交流やつながりがほとんどない</li> </ul>

## 2) 訪問先の活動／団体は、どんなことに困っていた？

	<p>[生きいきサロン]</p> <p>▶地域への発信を行なっているものの、挨拶をする程度で<b>深いつながりを築けない</b> [ヒューマンライフケア／菅仙谷]</p> <p><b>活動を進める上で地域の理解は大切</b></p> <p>▶生活支援コーディネーターの周知と地域とのつながりづくりが難しい [花織たま北]</p> <p>▶障がいのある人の活躍の場の創出と地域の理解を深めること [はぐるま共同作業所「みらぼ」]</p> <p>▶保育と地域貢献を一体的に発展させる理念をどう継承していくか [星の子愛児園]</p>
<p><b>団体同士のつながりが必要</b></p>	<p>▶まだ対応できていないニーズも多くあり、<b>新たな挑戦のためには他機関との連携や支援が必要</b> [星の子愛児園]</p> <p>▶<b>近隣の施設との交流がない</b> [ヒューマンライフケア／多摩]</p>
<p><b>活動の継続が難しい</b></p>	
<p><b>担い手の高齢化で次の世代の確保が難しい</b></p>	<p>▶コロナの影響もあり、地域に先生／人材の確保が難しい [寺子屋ひがしすげ]</p> <p>▶<b>スタッフの高齢化や次の世代の人手不足が不安</b> [生きいきサロン]</p> <p>▶参加者の多くが高齢者で、今後の活動を牽引するであろう<b>若い世代の関わりが必要</b> [特別養護老人ホーム菅の里]</p> <p>▶中心メンバーの高齢化や活動全体の参加者も減少し、今後盛り上げてくれる<b>新しい世代のメンバーが増えないことが心配</b> [公園体操（稲田公園）]</p> <p>▶<b>運営側と参加者が共に活動していく意識を、参加者に共有できていない</b> [生きいきサロン]</p> <p>▶運営を担うボランティアリーダーが減ってしまった [公園体操（菅なかよし公園）]</p> <p>▶獅子舞の担い手が不足し、<b>文化を継承することの難しさ</b> [薬師寺]</p>
<p><b>活動が多様で、人手が不足している</b></p>	<p>▶<b>業務が多岐に渡るため、職員に負担がかかりやすそう</b> [星の子愛児園]</p> <p>▶<b>多様な取組に対して施設職員が不足していて、実施できない事業もある</b> [南菅こども文化センター]</p> <p>▶ヒーリングガーデンや地域交流<b>スペースを活用するための人材が不足している</b> [よみうりランド花ハウス]</p> <p>▶施設の担い手や、援農ボランティアを確保するのが難しい [川崎市農業技術支援センター]</p>
<p><b>活動の継続が難しい／大変</b></p>	<p>▶当初の資金がほとんどなくなり、<b>今後の運営費をどう捻出するか</b> [生きいきサロン]</p>

## 2) 訪問先の活動／団体は、どんなことに困っていた？

	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶公園内の豊かな自然の<b>維持管理が大変</b> [小沢城址公園]</li> </ul>
<b>活動が知られていない、資源が活用されていない</b>	
<b>活動が知られていない／活動の課題</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶提供している<b>事業や施設のサービス</b>が知られていない [南営いこいの家]</li> <li>▶<b>育てている作物</b>が地域に周知されず、知名度の低さや<b>販売が伸び悩んでいる</b>のが悩み [川崎市農業技術支援センター]</li> <li>▶菜園の場所が良くなく、<b>野菜がうまく育たない</b> [菅保育園]</li> <li>▶給食がない日は開催できない [寺子屋ひがしすげ]</li> <li>▶<b>小沢城址の歴史</b>をどう知ってもらうか [小沢城址公園]</li> <li>▶<b>薬師堂の歴史</b>を周知させることがむずかしい [薬師寺]</li> </ul>
<b>空間的資源が活用しきれていない</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶コロナ等の影響もあり、<b>ヒーリングガーデンや地域交流スペース</b>が活用しきれていない [よみうりランド花ハウス]</li> <li>▶<b>学校の授業中や夜間に施設を開放</b>しているが、利用が少ない [南営こども文化センター]</li> <li>▶施設のセキュリティなどの<b>活動スペース</b>の課題がある [特別養護老人ホーム菅の里]</li> <li>▶<b>新しい施設</b>を活用してほしい [はぐるま共同作業所「みらぼ」]</li> <li>▶<b>地域交流スペース</b>が知られていなく、活用がされていない [花織たま北]</li> <li>▶<b>移動パン屋さんを交流の場所</b>に使ってもらいたい [ヒューマンライフケア／菅仙谷]</li> </ul>
<b>その他</b>	
<b>アクセス／ハード面の課題</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶駅からのアクセスが遠い [花織たま北]</li> <li>▶建物が老朽化している [菅保育園]</li> <li>▶現在の会場以外に、周辺に使用できる会場がない [生きいきサロン]</li> <li>▶場所が分かりづらい [南営いこいの家]</li> <li>▶場所が分かりづらい [南営こども文化センター]</li> </ul>
<b>その他</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶困りごとをきっかけに<b>つながり</b>を探している [花織たま北]</li> <li>▶利用が少ない施設と、利用が多くて予約が取りづらい設備のバランスが難しい [川崎市多摩スポーツセンター]</li> </ul>

### 3) どんなつながりや取組があれば、訪問先の活動がより豊かになりそう？

団体連携によってつながりを増やすためのアイデア	
子ども×子どもの関係団体による連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆Team SUGE メンバーの施設を、子どもたちが回るイベント [菅こども文化センター]</li> <li>◆子ども食堂、寺子屋事業などと連携し、子ども関連の活動のハブになる [菅こども文化センター]</li> <li>◆子ども向けの講座や災害についての講習会など、地域の機関と連携する [星の子愛児園]</li> </ul>
高齢者×高齢者の関係団体による連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆生活支援コーディネーターとの連携による早期発見や支援や、地域活動の紹介 [菅いこいの家]</li> <li>◆近隣の施設や事業所と連携して、訪問する・訪問してもらうきっかけをつくる [ヒューマンライフケア/多摩]</li> </ul>
子ども×高齢者の関係団体による連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆寺子屋の先生養成講座を、いこいの家で開催する [南菅いこいの家]</li> <li>◆こども文化センターとの連携やシニアの強みを生かし、伝統的な遊びなどを通じた子どもとの交流機会の創出 [菅いこいの家]</li> <li>◆建物内いこいの家と連携して交流をはかる [南菅こども文化センター]</li> <li>◆高齢者施設の利用者と園児の交流を園庭で行ってみる。同じ空間にいても良い [菅保育園]</li> <li>◆子どもの体験として、高齢者や障がい者施設、保育園などの訪問と交流 [寺子屋ひがしすげ]</li> <li>◆地域の高齢者施設等と連携し、高齢者と子育て中のママさんをつなげ、交流を促進する [星の子愛児園]</li> <li>◆保育園や高齢者施設の利用者に参加してもらう [公園体操 (菅なかよし公園)]</li> <li>◆子育て中のママさんと子どもや小学生など、新たな参加者を発掘し、一緒に活動することで、多世代交流を促す [公園体操 (稲田公園)]</li> </ul>
健康×○○ スポーツ×○○	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆人気のある卓球を切り口に、卓球を提供している施設でお互いの取組の周知を協力・連携する [川崎市多摩スポーツセンター]</li> <li>◆公園体操やウォーキングの立ち寄り場所/終着点にするなど、場所を中心に人がつながるようなしくみをつくる [花織たま北]</li> <li>◆体操後に施設やそこでのイベントに行き交流する [公園体操 (菅なかよし公園)]</li> </ul>
農・菜園×○○	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆育てた野菜をすげカフェ等で提供したり、栽培した花を飾ったりすることで発信できる機会を設ける [特別養護老人ホーム菅の里]</li> <li>◆農業技術支援センターや菜園ボランティアなどに協力を仰ぎ、アドバイスをもら</li> </ul>

### 3) どんなつながりや取組があれば、訪問先の活動がより豊かになりそう？

	<p>う [菅保育園]</p> <p>◆高齢者等、人々に農業体験してもらう [川崎市農業技術支援センター]</p>
他団体と連携して、施設を飛び出て活動する	<p>◆施設を飛び出して、近隣の施設、農家、公園などの資源と連携した<b>学習や交流の機会</b>ができると良い [菅こども文化センター]</p> <p>◆出張販売をさせてもらったり、地域の子どもたちにPRを考えてもらうなど、地域の他団体と連携する [川崎市農業技術支援センター]</p> <p>◆菅地区内の<b>イベントや近隣施設に出店</b>して、利用者の活躍の場を増やす [はぐるま共同作業所「みらぼ」]</p> <p>◆地域の他の施設で<b>出前講座</b>を開催する [川崎市多摩スポーツセンター]</p>
リソースを共有できる仕組み	<p>◆地域のキーマンと連携したり、<b>ヒト・モノ・カネを互いに補う</b>連携ネットワークをつくる [生きいきサロン]</p> <p>◆寺子屋とこども文化センターの<b>担い手(先生/職員)の交流や連携</b>ができると良い [南菅こども文化センター]</p>
日常的に連携する仕組み・体制	<p><b>近隣団体・活動との連携</b></p> <p>◆同施設を利用する他団体と交流することで、人手を確保したり、多世代との交流を促す [生きいきサロン]</p> <p>◆日常的に、こども文化センターや生きいきサロン、公園などの地域の他施設と連携を図る [特別養護老人ホーム菅の里]</p> <p><b>同じような活動との連携</b></p> <p>◆プロスポーツとのつながりは継続できると良い [川崎市多摩スポーツセンター]</p> <p>◆公園体操同士のつながりを強め、参加者を増やす取組を進める [公園体操(菅なかよし公園)]</p>
<b>地域と連携するためのアイデア</b>	
地縁組織や団体の協力を得る	<p>◆公共施設、高齢者施設、<b>町会、商店街</b>など様々な組織の協力を得て、先生の募集や養成講座のチラシを配布してもらう [寺子屋ひがしすげ]</p> <p>◆スペース活用の人材は、ボランティア活動を通して<b>町内会に協力を得る</b> [よみうりランド花ハウス]</p> <p>◆<b>民生委員児童委員協議会</b>と連携する [花織たま北]</p> <p>◆<b>自主防災組織</b>に協力を依頼する、帰宅困難者の受け入れを行うなど、防災の取組からつながりを広げる [ヒューマンライフケア/多摩]</p> <p>◆<b>地域の学校</b>と連携し、ホームでの活動や認知症について理解を深めてもらう取り組みを行うことで、学生に知ってもらう機会をつくる [ヒューマンライフケア/菅仙谷]</p>

### 3) どんなつながりや取組があれば、訪問先の活動がより豊かになりそう？

<p>地域住民とつながるきっかけをつくる</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆イベント時の清掃活動など、管理者と<b>地域住民がつながる機会</b>をつくる [薬師寺]</li> <li>◆<b>地域でのボランティア機会</b>を増やしていくことで地域貢献につなげる [はぐるま共同作業所「みらぼ」]</li> <li>◆<b>地域の団体が施設を利用しやすい仕組み</b>がつかれると良い [川崎市多摩スポーツセンター]</li> <li>◆地域貢献を充実する取組として、高齢者や障がい者を対象に、<b>健康づくりに向けた教室やプログラム</b>を企画する [川崎市多摩スポーツセンター]</li> <li>◆<b>普段の花壇掃除や地域のお祭りやイベント</b>で、地域の方との交流を図る [ヒューマンライフケア／菅仙谷]</li> </ul>
<h3 style="color: #008000;">活動を知ってもらう、資源を活用してもらうためのアイデア</h3>	
<p>スペースの活用を促すアイデア</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆新施設の<b>貸し出し</b>についてPRする [はぐるま共同作業所「みらぼ」]</li> <li>◆スペースの貸し出し以外に、<b>講座やイベント</b>を企画し、<b>利用促進</b>する [南菅いこいの家]</li> <li>◆施設のイベントをガーデンで開催したり、他団体と<b>イベントを実施</b>したりすることで地域との交流を促す [よみうりランド花ハウス]</li> <li>◆新施設を活用して、<b>交流を目的としたイベント</b>や事業を近隣施設との<b>合同</b>で開催する [はぐるま共同作業所「みらぼ」]</li> <li>◆地域交流スペースを活用した<b>講座やイベント</b>を開催して、存在を大々的にアピールする [花織たま北]</li> <li>◆夜間など、<b>利用を増やしたい時間帯にイベント</b>を開催して発信する [南菅こども文化センター]</li> <li>◆他団体への<b>貸出</b>や<b>地域住民が利用できる時間</b>を設けることで活用する [よみうりランド花ハウス]</li> </ul>
<p>活動への具体的な取組アイデア</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆体操後に交流の時間を設ける [公園体操 (菅なかよし公園)]</li> <li>◆参加者みんなが交流しやすいような、新しいプログラムづくりをする [公園体操 (稲田公園)]</li> <li>◆車椅子ユーザーも利用できるプランターを設置し、土に触れる機会を提供する [特別養護老人ホーム菅の里]</li> <li>◆キッチンカー等のコラボで、魅力的なカフェをつくる [特別養護老人ホーム菅の里]</li> <li>◆現地でのガイドを行う [小沢城址公園]</li> <li>◆施設名を“フルーツパーク”のような、身近に感じられる名称にする [川崎市農業技術支援センター]</li> <li>◆制約の少ない屋外の活用 [菅いこいの家]</li> </ul>

### 3) どんなつながりや取組があれば、訪問先の活動がより豊かになりそう？

<p><b>活動の周知</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆運営スタッフや会場募集のポスターを掲示板や回覧等で発信し、新規スタッフや会場の確保を行う [生きいきサロン]</li> <li>◆過去の利用者や先生のとつながりを活用して、取組を発信していく [南菅こども文化センター]</li> <li>◆現地でのガイドだけでなく、獅子の施設訪問や体験会などを開催し、広報活動を行う [薬師寺]</li> <li>◆子育てセンター等の施設や区のHPで情報発信をしたり、活動の際にはのぼり等でアピールするなど、活動を知ってもらう [公園体操 (稲田公園)]</li> <li>◆手渡しでのチラシ配布や団体の広報媒体を活用し、周知活動を行う [ヒューマンライフケア/菅仙谷]</li> <li>◆歴史の由来や、公園でのイベントの情報発信を地域全体に行う [小沢城址公園]</li> </ul>
<p><b>活動の維持</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆活動が継続できる活動も取り入れる [生きいきサロン]</li> <li>◆自発的に活動する人材を発掘する [特別養護老人ホーム菅の里]</li> <li>◆手伝いのお願いや、参加者から講師のボランティアを発掘するなど、参加者との協力を図る [生きいきサロン]</li> <li>◆担い手やボランティアの育成をする [公園体操 (菅なかよし公園)]</li> </ul>

## A コース

### 公園体操（稲田公園）

#### 1) 訪問先について、良いな！と思ったこと

##### ●継続的に活動していること

- ・参加者が減少傾向ということではあるが、それでも長年継続してこられていること。
- ・活動が継続的に行われている。

##### ●明るい雰囲気や無理のない運動で、参加への敷居が低く、誰でも参加しやすいこと

- ・無理なく体を動かすことができ、誰でも参加できることがいいなと思いました。
- ・参加してくださっているボランティアの方々の明るい雰囲気と参加にウェルカムな体制を整えている所。
- ・「遅刻早退 OK」というスタンスで参加者に心理的な負担を与えない
- ・自由に、途中退席、途中参加ができ、参加の敷居が低いこと
- ・90代の方も参加しており、高齢になっても、参加しやすい。
- ・参加しようと思えば、快く受け入れてもらえそう。
- ・参加しなくなった人を気遣っている。

##### ●気軽に話したりと、地域との交流が生まれ、参加者の居場所として機能していること

- ・週2回の活動により、適度なコミュニケーションが図られている。
- ・手作りの誕生日プレゼントを渡してお祝いする等、参加者一人一人の居場所として機能している
- ・地域の方や保育園児のお散歩コースになっており、気軽に言葉を交わしやすい
- ・体操終わった後にお話ししたりと、メンバー間の交流があること
- ・他の公園体操との交流があること

##### ●参加者が楽しそうで、健康促進や活動自体の意義を感じられる活動になっていること

- ・参加者が笑顔で楽しそうに活動されておられたこと。
- ・活動そのものが高齢者の健康促進に繋がっている。
- ・参加者一人ひとりが楽しく活動しており、生き生きしている。
- ・90歳になっても元気に体操されていることが、この体操の意義や利益を実感したり類似体験できるのではないかと感じた。

## 2) 訪問先の活動／団体は、どんなことに困っていた？

---

### ▶中心メンバーの高齢化や活動全体の参加者も減少し、今後盛り上げてくれる新しい世代のメンバーが増えないことが心配

- ・参加者の減少。役員候補（跡継ぎ）の不足。
- ・高齢化のためか、年々参加者が減少している。
- ・新しい参加者が増えない
- ・参加者が減少傾向にあること。公園体操を今後とも盛り上げるような人がいないこと。
- ・中心となるスタッフの高齢化が進み、次を担う人材の参入がない
- ・メンバーの高齢化が進み、新しいメンバーの加入がないこと
- ・参加者の減少

### ▶男性参加者がすくないこと

- ・忙しいのか男性参加者が少ない。

## 3) どんなつながりや取組があれば、訪問先の活動がより豊かになりそう？

---

### ◆子育て中のママさんと子どもや小学生など、新たな参加者を発掘し、一緒に活動することで、多世代交流を促す

- ・多世代交流はポイントだと思う。保育園は時間的に難しそうなので、自宅で子育てをしているママさん世代に、公園にお散歩に行きながら、高齢者と交流できないか。
- ・小学生との交流として一緒に体操できたらと思いました。
- ・幼稚園やその保護者との交流増加
- ・保育園児が参加すれば、より活性化する可能性がある。
- ・新たな参加者の発掘

### ◆子育てセンター等の施設や区のHPで情報発信をしたり、活動の際にはのぼり等でアピールするなど、活動を知ってもらう。

- ・体操のお誘いを子育てセンターなどから情報発信してもらう。
- ・公園に来る親子との交流が図れるよう、近くの保育施設等乳幼児の関係機関で、公園体操を行っていることを広報してもらう等
- ・区ホームページで講演体操の様子を動画で広報する。
- ・通りがかりの人がパッと参加できるよう「飛び入り参加歓迎です！」といったのぼり等を出し、フランクなスタンスをアピールする

### ◆参加者みんなが交流しやすいような、新しいプログラムづくりをする

- ・新たな魅力的なプログラムづくり
- ・体操の前後で今の子も参加者やボランティアの方が知っている童謡を流して関わりやすい機会をつくる

## 4) 応援メッセージ

- ・無理なさらず、末永く楽しく活動を行って下さい。
- ・体を動かし、普段使っていない筋肉も伸びてとてもリフレッシュできました！
- ・スタッフの皆さん、参加者の方、双方とても楽しんで活動されている空気が伝わってきました。
- ・地域づくり、地域の高齢者の健康づくりの担い手として、これからも頑張っていただけたらと思います。
- ・継続することの大切さや大変さを感じることができました。これからも引き続き、住民一人ひとりの健康長寿や、体操を通じての交流を続けていって欲しいです。

## 星の子愛児園

### 1) 訪問先について、良いな！と思ったこと

#### ●子どもたちが楽しく過ごしながらか成長できる設備や試みが充実し、園に活気があること

- ・子どものことを第一に考えていただいて、食育や季節の体験などができると良いと思いました。
- ・姉妹園との交流や季札を感じ取れるようなイベントなど、子どもの成長発達を促す試みが沢山行われていた。
- ・子どもたちが楽しく過ごせるよう、設備や内装、施設の使い方等工夫されていること
- ・子どもたちの元気な声が施設内で響き渡っていて、活気のある園だと感じました。
- ・駅前に近いにもかかわらず、施設や園庭が充実している。
- ・子どもの動線に合わせた構造になっている。

#### ●一時保育や学童等の子育ての中の様々なニーズにも専門的に対応でき、地域に開かれた施設として、気軽に利用しやすいこと

- ・一時保育や支援センターでの来訪者なども多く、ニーズにしっかり答えている。
- ・多機能施設のため、専門職による包括的なサポート体制が整っている
- ・地域子育て支援センターや一時保育、保育園、学童保育と、子育てについての様々なニーズに対応でき、長く繋がっていけるよう運営されていること
- ・「地域に開かれた施設」というスタンスがある
- ・地域に開かれた施設として、一時避難所としての機能も備えていること
- ・一時預かりの子どもでも園の行事に参加できるなど園児でなくても気軽に利用しやすい環境が整っている。

#### ●地域に根差して活動しており、それが強みであると感じた

- ・多交流の薄れが問題視されているなかでも、福祉施設に声がかかるという地域に根差して活動を行なっているからこそ生じる出来事であり、強みであると感じた。

## ●園長の保育理念が保育士全体に行き届いていると感じた

- ・園長の保育理念が保育士一人ひとりに行き届いているように感じました。

## 2) 訪問先の活動／団体は、どんなことに困っていた？

---

### ▶保育と地域貢献を一体的に発展させる理念をどう継承していくか

- ・保育と地域貢献を統一的に発展させる思想の継承

### ▶まだ対応できていないニーズも多くあり、新たな挑戦のためには他機関との連携や支援が必要

- ・地域の親子のニーズに合わせて取り組みを行なっているものの、まだ拾いきれていない親子も多く存在していること。また、この対策には他の機関の連携と支援が必要であるということ。
- ・コロナ禍で新たな挑戦に踏み出せないことがあるということ。

### ▶業務が多岐に渡るため、職員に負担がかかりやすそう

- ・多岐にわたる業務に携わるため、職員に潜在的な負担感がありそう

## 3) どんなつながりや取組があれば、訪問先の活動がより豊かになりそう？

---

### ◆地域の高齢者施設等と連携し、高齢者と子育て中のママさんをつなげ、交流を促進する

- ・支援センターでシニアの活動も紹介し、シニア世代とママさん世代をつなげる。おせっかい活動。
- ・稲田堤には高齢者施設が多数あり（有料老人ホーム、サ高住等）、そういった施設と定期的に交流する機会があるといいのでは（季節のイベントやお祭りに双方で招待し合う等）
- ・地域の高齢者との交流等
- ・高齢者との交流（誕生日会などの相互交流）

### ◆子ども向けの講座や災害についての講習会など、地域の機関と連携する

- ・感染症もありなかなか交流をすることが難しいかと思いますが、乳幼児に向けての講座や小学生との交流等を増やしていただけたらと思います。
- ・地域の機関との連携。Ex)災害についての講習会を地域の職員（多摩区役所など）と行いながら、出張の乳幼児健診を行う（子育て支援センターなどで）。

## 4) 応援メッセージ

---

- ・これからも子どもたちのために様々な体験ができるよう何かお力になることがありましたら協力させてください。
- ・いつもありがとうございます
- ・子育てに留まらない地域の拠点としての活動に、視野の広さを感じます。
- ・保育に限らず様々な形で地域になくてはならない施設だと思いました。

- ・多摩区の保育におけるシンボリックな園だと感じました。子どもたちにとって、健やかな成長に欠かせない園であり、保護者にとっても、交流する場や相談先として、引き続き、身近な存在であってほしいです。

## 生きいきサロン

### 1) 訪問先について、良いな！と思ったこと

#### ●運営側も勉強したり、自身のスキルを活かしたりと、楽しく生きがいとして参加していること

- ・運営している皆さんも自分の役に立っているという生きがいにもなっていること。
- ・このサロンを開催するためにスタッフ自身が勉強する等、スタッフ側の自助にもなっている
- ・自身が持つスキルを活かし、楽しんで実施している
- ・利用者だけでなく、ボランティア側も生きがいとして運営していること
- ・ボランティア各々の強み、趣味を生かした運営を行っていること
- ・活動できる施設があること。

#### ●徒歩圏内で行ける交流の場として、地域の高齢者にとってアットホームな場となっていること

- ・顔の見える関係で欠席の時は安否確認をしている。
- ・地域の高齢者に寄り添ったいいの場になっている。
- ・無理のない徒歩圏内で週1回開催することで、参加者の1週間の生活リズムの一部になっている
- ・アットホームな感じの施設。
- ・コロナ禍ではありますが、おやつを提供は欠かさず行っていることで、食を通して利用者の方々と交流をしていることが良いなと思いました。

#### ●栄養士や看護師、多摩区以外の住民など、様々なボランティアが互いに協力していることが強み

- ・栄養士や看護師がボランティアをしていることを強みにサロンの環境づくりや生活支援を行なっている。ボランティアも参加者も互いに支え合っている感じが出ていた。
- ・多摩区以外のボランティアが協力して、行っていること。

### 2) 訪問先の活動／団体は、どんなことに困っていた？

#### ▶スタッフの高齢化や次の世代の人手不足が不安

- ・スタッフの高齢化。プログラムの考案の負担感がありそう。
- ・新しいボランティアの方がいない為人手不足。
- ・今後への不安（継続、次世代への担い手不足）

- ・スタッフの高齢化が進み、次を担う人材の参入がない
- ・運営スタッフの高齢化。
- ・ボランティアが増えないこと

▶**スタッフが他地域から通っているため、地域との交流やつながりがほとんどない**

- ・運営している方々が地域に住んでいない為、交流が難しい。
- ・スタッフは管以外の場所から通ってくるため、移動の負担感がありそう
- ・ボランティアの方々は多摩区の住民ではないため、地域との繋がりのコネがないこと
- ・支援が少ない
- ・協力者

▶**当初の資金がほとんどなくなり、今後の運営費をどう捻出するか**

- ・会場費や材料費等で、当初団体を立ち上げた際の資金はほとんどなくなってしまった。
- ・運営費

▶**現在の会場以外に、周辺に使用できる会場がない**

- ・現在の会場が使用できなくなった場合には、代わりとなる会場が付近にない

▶**運営側と参加者が共に活動していく意識を、参加者に共有できていない**

- ・参加者が「お客様」となっていて、一緒に活動していくという意識が足りない。

### 3) **どんなつながりや取組があれば、訪問先の活動がより豊かになりそう？**

◆**手伝いのお願いや、参加者から講師のボランティアを発掘するなど、参加者との協力を図る**

- ・シニアの参加者が、講師になってボランティアできることを発掘し、保育園や障害者施設で経験を役立てる。
- ・新しいボランティアが見つからないとのことより、利用されている方に少し早く来てもらうことができることを手伝ってもらおう等できたら良いかと思いました。

◆**運営スタッフや会場募集のポスターを掲示板や回覧等で発信し、新規スタッフや会場の確保を行う**

- ・利用者集めとしてお力になることは難しいですが、運営する側の募集をしている旨のポスターを掲示することはできます。
- ・「調理ボランティア募集」「空き家の有効活用しませんか？」といったチラシを町内回覧や掲示板に掲示してもらうことで、新規スタッフの確保や代替の場所の確保ができるのではないか
- ・独居の高齢者をもつ家族(娘、息子)などがサロンを知り、紹介できるような機会を作る。

◆**同施設を利用する他団体と交流することで、人手を確保したり、多世代との交流を促す**

- ・同じレンタルスペースを借りている人々との交流(座ってできるフラダンス講習会であったり、習字を習いにきている子どもとの交流会、工作会など)。

◆地域のキーマンと連携したり、ヒト・モノ・カネを互い補う連携ネットワークをつくる

- ・地域のキーパーソンとの連携
- ・こうした活動において不足する資源（ヒト・モノ・カネ）を互いに補えられるネットワークの仕組みができれば・・・。

◆活動が継続できる活動も取り入れる

- ・スポーツクラブで高齢者競技を学び、継続発展的な活動も取り入れる、など。

#### 4) 応援メッセージ

---

- ・コロナ禍でも活動を継続された熱意は素晴らしいと思います。
- ・週に1回、この場があることで従来通りの生活ペースを維持できている方がいることは、とても大きな意味があると思います。
- ・生きがいとしてボランティアされているという話に感銘を受けました。
- ・参加者にとっては、なくてはならない通いの場の一つだと感じました。様々なご苦労があるかと思いますが、引き続き、参加者にとっての心の拠り所として活動して欲しいです。

## B コース

### 薬師寺

#### 1) 訪問先について、良いな！と思ったこと

##### ●継承されてきた歴史を感じられること

- ・菅の獅子舞続いてほしいです
- ・獅子舞の展示
- ・獅子舞の披露
- ・戦禍に遭いながらも人々の努力によって継承されてきた由緒あるお寺。ガイドの方のお話も興味深く聴けた。菅の獅子舞やこども相撲が指定無形文化財として若い世代に継承されていることは保存会の人たちの努力が感じられた。
- ・(ガイドの方の話を伺って) 歴史を肌で感じられるところ

##### ●9月の獅子舞お披露目会、子ども相撲大会では活気に溢れ、地域に親しまれていること

- ・相撲大会の開催
- ・緑に囲まれ、とても静か。催し物がある時は住民が集まり、活気が出る。歴史を感じる。
- ・獅子舞やこども相撲など、賑わいを感じられるところ
- ・毎年9月の獅子舞お披露目会、子ども相撲大会の会場になっていたり地域の方に親しまれる場所になっていること

#### 2) 訪問先の活動／団体は、どんなことに困っていた？

##### ▶薬師堂の歴史を周知させることがむずかしい

- ・歴史をつなぐ難しさを困っているのでは
- ・薬師堂の由来の認識、周知不足
- ・獅子舞の文化や歴史をもっともっと伝えていきたいという思いがあるのでは？

##### ▶獅子舞の担い手が不足し、文化を継承することの難しさ

- ・伝統芸能の継承
- ・伝統の獅子舞いの継承。コロナで小学校の授業に取り入れる事が難しくなっている。
- ・担い手不足
- ・獅子舞の担い手不足
- ・獅子舞の担い手不足

##### ▶コロナの影響で相撲大会が開催できていないこと

- ・コロナで相撲大会が実施出来ていない

### 3) どんなつながりや取組があれば、訪問先の活動がより豊かになりそう？

---

#### ◆現地でのガイドだけでなく、獅子の施設訪問や体験会などを開催し、広報活動を行う

- ・薬師堂の由来やイベントのお知らせを菅地区全世帯へ配布
- ・見学の際のガイドさんの説明
- ・施設に獅子がきて欲しい
- ・高齢者も見学できる取り組みがあれば豊かになりそうです
- ・住民へのアピール、広報活動
- ・保育園や子ども文化センターで、獅子舞体験会や文化・歴史に関するお話し会の開催（獅子舞保存会の方が小学校で授業を行っていたというお話あり）

#### ◆イベント時の清掃活動など、管理者と地域住民がつながる機会をつくる

- ・催し物の前後で、清掃活動を住民が一体となって出来るようにするなどして、管理をしている方々と住民が繋がるようにする。

### 4) 応援メッセージ

---

- ・ご利用者様に獅子舞を見せてあげたいです。
- ・出来ることが有れば協力したいです。
- ・歴史を知り、形のあるなしに関わらず、伝統を守る大切さを痛感しました。
- ・身近な建物を掘り下げてその歴史を学ぶことの楽しさを感じました。これからも、楽しいガイドを続けてより多くの人たちに伝えてください。

## 小沢城址公園

### 1) 訪問先について、良いな！と思ったこと

---

#### ●歴史上の合戦の舞台が菅にあること

- ・歴史上の武将の合戦の舞台に立ち感動しました
- ・合戦の舞台が菅に有る
- ・鎌倉幕府の見張り台としての役割を戦場の最先端の場で果たしていたというお話が印象深かったです。

#### ●住宅地の近くで、豊かな自然を味わえること

- ・空気が良い自然が楽しめる所が菅に有る
- ・程よい散策コース。住宅地に近く、足を運びやすい。見渡しがよく、気持ちがいい。
- ・住宅地の近くにこんな自然豊かで起伏に富んだ場所があることに驚きました。
- ・公園内を歩きながら、歴史を感じ、自然を感じることができる

- ・菅地区にこんなに自然豊かな場所があることを知らなかった

### ●公園内にはベンチが置かれ、休憩スペースとして利用できそうなこと

- ・石碑ある広場にベンチがいくつかあり、休憩スペースとして利用できそう
- ・小沢城址公園から寿福堂への道に、「ご自由にどうぞ」のベンチあり（写真参照）

## 2) 訪問先の活動／団体は、どんなことに困っていた？

---

### ▶小沢城址の歴史をどう知ってもらおうか

- ・小沢城址の由来の浸透

### ▶公園内の豊かな自然の維持管理

- ・自然の維持管理でしょうか

## 3) どんなつながりや取組があれば、訪問先の活動がより豊かになりそう？

---

### ◆現地でのガイドを行う

- ・見学の際のガイドさんの説明

### ◆歴史の由来や、公園でのイベントの情報発信を地域全体に行う

- ・薬師堂の由来やイベントのお知らせを菅地区全世帯へ配布

## 4) 応援メッセージ

---

- ・高台で行くのが大変で。すいません思い浮かびません。
- ・ガイドさんの説明付き散策
- ・団体への訪問にてガイドさんによる説明
- ・歴史が深く、一度きりの散策では語りつくせない。「〇〇の歴史」「××の歴史」などテーマを作り、数回コースで攻略できるようにするなど、次も参加しようと思えるような企画を作る。
- ・近場で豊かな自然が楽しめることを広めるために、イベントなどを企画する。

## 川崎市農業技術支援センター

### 1) 訪問先について、良いな！と思ったこと

---

- 無料で地域に開放され、ピクニックをしたり散歩したりと園内を自由に散策できること
- ・入園無料、P 有り

- ・園内自由に散策出来る
- ・無料で入園でき、お弁当を食べてもよい等、自由に過ごす事ができる。昔の器具などの展示もあり、興味がわく。
- ・無料で一般の方々に開放されていることに市民の憩いの場となっていると感じました。
- ・お弁当を食べたり、散歩をしたりなど、地域に開かれたスペースがあること

#### ●様々な農作物や花木等の姿や、広々とした景色を楽しめること

- ・広々として景色の良い環境で、様々な農作物や果樹、花木を見ることができました。
- ・展望台から見える景色

#### ●肥料を工夫していたり、プランターの活用を検討していたりと勉強になったこと

- ・肥料も工夫されていて勉強になりました
- ・いちごのプランターの活用方法について検討されていること

#### ●園内で育てた野菜や花木を購入できること

- ・野菜販売
- ・支援センター内で育てた野菜や花きが販売されている

## 2) 訪問先の活動／団体は、どんなことに困っていた？

---

### ▶施設の担い手や、援農ボランティアを確保するのがむずかしい

- ・援農ボランティアがいない
- ・農業の担い手不足
- ・援農ボランティアに応募が少ないこと。
- ・援農ボランティアの確保
- ・学校への講習会やセンターの強みを生かしたイベント（収穫体験）など、想いはあるが、実働で動ける人がいない。
- ・農業の団体に対しての研修や支援活動。

### ▶育てている作物が地域に周知されず、知名度の低さや販売が伸び悩んでいるのが悩み

- ・のらぼうつや菜の知名度、販売の伸び悩み
- ・広報、周知が行き届かないこと。
- ・生産物の販売や庭の一般開放。

## 3) どんなつながりや取組があれば、訪問先の活動がより豊かになりそう？

---

### ◆高齢者等、人々に農業体験してもらう

- ・高齢者の農業体験があればと思いました
- ・収穫体験

◆出張販売をさせてもらったり、地域の子どもたちに PR を考えてもらうなど、地域の他団体と連携する

- ・近隣団体への声掛け
- ・他団体と協力して、施設前に無人販売所を設置し、野菜やチラシを置く
- ・とても広い敷地なので、ツアーを組んで、説明を聞きながら歩けたらいいと思う。
- ・かわさきつや菜のアピール
- ・かわさきつや菜など力を入れている川崎の野菜の PR を地域の保育園児や小学生に考えてもらう。
- ・野菜や花きの出張販売

◆施設名を“フルーツパーク”のような、身近に感じられる名称にする

「フルーツパーク」のような、もっと身近に感じやすい名称にすると、訪れやすくなるのではないかと思う。

#### 4) 応援メッセージ

- ・品種改良がんばってください
- ・出来ることが有れば協力します。
- ・暖かくなったらご利用者をお連れしたいと思います。
- ・イチゴ狩りの出張、ぜひ実現させてください。
- ・販売されていたキャベツと柿とてもおいしかったです。地方から出てきている方々はふるさとを思い出すのではないのでしょうか。
- ・建物は古いですが、環境・展望抜群でした。取組などをもっと PR していただけるとよりいいと思いました。

## 特別養護老人ホームよみうりランド花ハウス

### 1) 訪問先について、良いな！と思ったこと

●敷地が広く、地域交流スペースや、地域に開放されたヒーリングガーデンなど、立派な設備があり、環境が良いこと

- ・敷地が広い、設備が揃っている
- ・ヒーリングガーデン、地域交流スペースが有る
- ・庭がある。以前は障害者の喫茶店が入っていて、地域に開放されていた。
- ・立派な建物と設備、環境に圧倒されました。
- ・地域交流スペース、ヒーリングガーデンが広いこと
- ・さつまいもの収穫→焼き芋イベントなど、活用ができそうなガーデンがある

●よみうりランドに隣接しているため、施設にいながら賑わいを感じられること

- ・よみうりランドの隣ということで、施設にいながら賑わいを感じられること

●施設に野球選手や交響楽団が来訪して下さること

- ・ジャイアンツの選手や交響楽団が来て下さる
- ・2軍選手、読売交響楽団との交流
- ・よみうり交響団など、読売グループならではの強み・資源がある

## 2) 訪問先の活動／団体は、どんなことに困っていた？

---

▶コロナ等の影響もあり、ヒーリングガーデンや地域交流スペースが活用しきれていない

- ・スペースが想定より介護度が上がって使用されていない
- ・ヒーリングガーデンが活用出来ていない
- ・コロナで地域交流スペースが一般解放出来ていない
- ・障害者の喫茶店は別の拠点に移ってしまった。ヒーリングガーデンもあるが、活用されていない。社会福祉法人として、地域に開放された施設を検討したい。
- ・ヒーリングガーデンの活用方法

▶ヒーリングガーデンや地域交流スペースを活用するための人材が不足している

- ・行事などを担う人手不足
- ・地域交流スペースやヒーリングガーデンを活用していくための人材不足

▶コロナの影響で、地域の方々との交流が変化した

- ・地域の方々との関わり。コロナ以前、以後での変化

## 3) どんなつながりや取組があれば、訪問先の活動がより豊かになりそう？

---

◆他団体への貸出や地域住民が利用できる時間を設けることで活用する

- ・地域の方へ使用してもらえる時間をつくれればいいのでは
- ・住民にアンケートを取るなどして、住民が何をしたいか把握する。趣味活動が少人数の団体でできるようにし、空いている空間を活用する。
- ・場所を探している他団体への貸出、活用
- ・ヒーリングガーデンの活用

◆施設のイベントをガーデンで開催したり、他団体と合同でイベントを実施したりすることで地域との交流を促す

- ・他団体と合同でイベントを考える
- ・ヒーリングガーデンは屋外なので、ジャイアンツの選手や交響楽団が来て下さる時に外部にお知らせし交流が出来ればと思います

- ・ヒーリングガーデンでは、体操、特養のイベントをガーデンで実施し、地域の人にも来てもらう

#### ◆スペース活用の人材は、ボランティア活動を通して町内会に協力を得る

- ・ボランティア活動などを通し、町内会の方の協力を得る。

## 4) 応援メッセージ

- ・ヒーリングガーデンは活用しないと勿体ないです出来る事が有れば協力します。
- ・包括として近隣の方々のニーズを拾っていきたいと思います。
- ・小規模多機能の当事業所としては唯々うらやましい限りでした。人手不足の悩みは規模の大小にかかわらず共感しました。
- ・季節が良い時のヒーリングガーデンはとても心地良さそうです。コロナ禍が収束し、集える場所ができればいいと思いました。
- ・活用ができそうな資源がたくさん眠っていると思いました。

## ヒューマンライフケア 菅仙谷の宿・菅仙谷 グループホーム

### 1) 訪問先について、良いな！と思ったこと

#### ●買い物ができるよう移動販売を取り入れるなど、入所者の楽しみをつくっていること

- ・入所している方々の楽しみを作り、いつもの生活に変化をつけるところ。
- ・住宅地の中にあり、こぢんまりとしてアットホームな印象を受けました。パンの移動販売は味もおいしく、とても魅力的でした。
- ・GHの方が入所以前の生活で行っていた「買い物」ができるように移動販売を取り入れていること

#### ●お祭りやイベントを通して、地域に発信していること

- ・自立支援を考えて地域にも発信していることが良い
- ・お祭りなどイベント実施への思いがあること

#### ●緑が多く、施設から若者の姿をみることが出来る環境であること

- ・緑が多い。入所者が高校生の姿を見られること

### 2) 訪問先の活動／団体は、どんなことに困っていた？

#### ▶地域への発信を行なっているものの、挨拶をする程度で深いつながりを築けない

- ・移動販売を地域の方に来ていただくのが難しいのでは
- ・お祭りなどのイベントに来て頂きたい

- ・行事のチラシを配ったり、清掃活動に参加する等、住民に働きかけているが、なかなか施設に足を踏み入れてくれない。
- ・地域とのつながり
- ・地域で花壇活動を行っている方との交流が挨拶程度。
- ・地域の方にパンの販売をお知らせしても買いに来る方がいない。
- ・広報。チラシを作成し、周辺地域には配布するが・・・

#### ▶移動パン屋さんを交流の場所に使ってもらいたい

- ・パン屋さんを近隣の方に知って頂き、地域の方の交流の場に使って頂きたい

### 3) どんなつながりや取組があれば、訪問先の活動がより豊かになりそう？

---

#### ◆地域の学校と連携し、ホームでの活動や認知症について理解を深めてもらう取り組みを行うことで、学生に知ってもらう機会をつくる

- ・菅高生と活動できればいいのでは
- ・近くの小学校や高校に働きかけ、利用者のお話し相手など体験してもらい、施設や高齢者へ興味を持ってもらえるようにする。
- ・例えば高校の文化祭や運動会に参加するなどして、交流を深めていく。若い世代とのかかわりは、高齢者の楽しみとなる気がします。
- ・地域にあるグループホームとして、近隣の小中高校に、ホームを知っていただき、認知症についての理解を深めるための取組や啓発を行う。

#### ◆手渡しでのチラシ配布や団体の広報媒体を活用し、周知活動を行う

- ・チラシ配布
- ・看板（掲示板）の設置
- ・職員と利用者が、住民と顔を合わせられるように、ポスティングではなく手渡しでチラシを配る等し、施設の存在を分かってもらう。
- ・各団体の広報媒体の活用

#### ◆普段の花壇掃除や地域のお祭りやイベントで、地域の方との交流を図る

- ・地域の方との交流（人手がないかもしれませんが、地域の方と一緒に花壇の掃除を行うなど）
- ・お祭りなどイベントを実施する際に各団体のスペースを活用する。

### 4) 応援メッセージ

---

- ・近隣住民の方々との交流が活発になるように、お手伝い出来たらうれしいです。
- ・たくさん歩いたあと、最後においしいパンに巡り合えて幸せでした。また買いに行きたいです。

## C コース

### 公園体操（菅芝間こども公園）

\* 雨天のため中止

### 特別養護老人ホーム菅の里【菅の里 庭づくりプロジェクト】

#### 1) 訪問先について、良いな！と思ったこと

- 住民にアンケートを取ってテーマとしたり、地域の専門家等と交流をしたりと、地域との関係構築に積極的なこと
  - ・アンケートをもとに、利用者や住民がやりたいことをテーマとしていること
  - ・地域に対して関係構築に向けて積極的な思いが感じられた。
  - ・これまでに、カフェの開催や地域の農業の専門家等との交流の実績がある。
- 地域の既存のイベントを活用して参加者を募ったり、緑化センターに依頼したりと、効果的な手法で進めていること
  - ・公園体操や既存のイベント等を活用して身近なところから参加者を募っていること
  - ・緑化センター等の専門家に依頼するなど、効果的な手法で進めていること
- 活用の可能性がある広い庭を所有していること
  - ・敷地内に活用できる場所がある。
  - ・想像以上に広い庭があること（活用可能性が大きい）
- 庭プロジェクトは施設外の人々も巻き込んでおり、参加者も定着していること
  - ・庭づくりプロジェクトの参加者が定着し始めていること
  - ・庭造りによって、施設外の人達も巻き込めるプロジェクトになっている。緑化センターというつながりもできている。
- 花壇や畑での活動を通じて、楽しく取り組みが行われていること
  - ・「緑」について花壇や畑を通じて楽しく取組が行われていた。

#### 2) 訪問先の活動／団体は、どんなことに困っていた？

- ▶参加者の多くが高齢者で、今後の活動を牽引するであろう若い世代の関わりが必要
  - ・参加者の多くが後期高齢者であり、もっと若い世代に入ってもらいたい
  - ・通常業務を行いながら、新たな企画・取組を実施して行くことへのマンパワー不足がある。
  - ・より若い方の関りを必要としている。

- ・活動のけん引力になるリーダー層がいないこと。前期高齢者や主婦層にポテンシャルがあるのではないかと踏んでいる。
- ・庭づくりプロジェクトについて、リーダーシップをとることができるような若い世代（60代など）の発掘

#### ▶すげカフェの休止により、立ち寄る場が減ってしまった

- ・コロナ前は菅いこいの家で「すげカフェ」を実施していたが、休止していて、立ち寄れる場所が減っている

#### ▶施設のセキュリティなどの活動スペースの課題がある

- ・施設のセキュリティ、活動スペースの課題

### 3) どんなつながりや取組があれば、訪問先の活動がより豊かになりそう？

---

#### ◆キッチンカー等のコラボで、魅力的なカフェをつくる

- ・ふらっと立ち寄れるカフェなどを目指すため、最近よく見るキッチンカーや移動コーヒー店等とのコラボが実現すると、より魅力的になるのではないか。
- ・カフェの開催（菅カフェの実績あり）

#### ◆日常的に、こども文化センターや生きいきサロン、公園などの地域の他施設と連携を図る

- ・行事等のコラボに限らず、人材発掘の視点からも、近隣施設、資源（こども文化センター、いこいの家、公園等）との連携やコラボを進めていく。
- ・いきいきサロンさんの活動の一環として使えないだろうか。
- ・屋外で制約の少ない公園の活用をお勧め致します。
- ・菅の里でのイベント（七夕やハロウィン）を庭で開催し、地域の人も呼び込む

#### ◆育てた野菜をすげカフェ等で提供したり、栽培した花を飾ったりすることで発信できる機会を設ける

- ・野菜の栽培ができると良いのではないか。
- ・現在は、花壇づくりがメインだが、野菜など食べられる作物を育て、菅カフェなどで共有する。（野菜をつかったクッキーなど）
- ・栽培した花を飾るなど、発表できる機会があるとよい（菅いこいの家まつり等）

#### ◆車椅子ユーザーも利用できるプランターを設置し、土に触れる機会を提供する

- ・費用はかかりますが車椅子の方でも利用できるプランターを活用すれば入所者も土に触れることができるのでは。

#### ◆自発的に活動する人材を発掘する

- ・自発的に活動できる方、リーダーシップを発揮できる方等人材の発掘ができるとよい。

## 4) 応援メッセージ

- ・地域の人たちとの交流も見据えていて、とても魅力的な取組だと思います。応援しています。
- ・素晴らしいビジョンを持って、様々な企画・取組を進めていることに敬意を表します。
- ・是非、お近くの菅公園を活用して下さい。
- ・なかなか活用できていない場所ということでしたが、庭が活気づくことで地域の立ち寄り所になるのでは？と思いました。庭が賑やかになるのが楽しみです。

## 菅こども文化センター

### 1) 訪問先について、良いな！と思ったこと

#### ●利用者が施設の運営・企画に主体的に関わる仕組みがある

- ・運営協議会や子ども会議にて、地域や利用者の意見を聞きながら、運営、企画等を行っていく仕組みがある。
- ・こども会議として子どもが主体となって意見を出し合う場があってよい。運営協議会も地元の人たちが集まっているので、地域の課題をつかみやすい。

#### ●スタッフの知識や経験や豊かで、雰囲気温かい

- ・積極的に地域の方々と連携しようとする姿勢で、館長の人柄も相まって、温かい雰囲気があったこと
- ・専門的知識や経験等が豊富なスタッフがいる。

#### ●利用者拡大に向けた独自の取り組みが活発

- ・常に利用者の拡大についての強い思いが感じられた。
- ・発表コーナーやランキング掲示など、利用者のモチベーションを高める工夫が多くされていたこと
- ・こども文化センター独自のイベントが活発であること。

#### ●打合せや集まることができる部屋がある

- ・打ち合わせや集まることができるお部屋があること

### 2) 訪問先の活動／団体は、どんなことに困っていた？

#### ▶コロナ禍で利用者（とくに中高生）が減少している

- ・利用者目標が19,000人/年であるが、コロナ禍もあり利用者数を伸ばすのが大変
- ・昔と比べて中高生の利用が大きく減少している
- ・コロナ禍もあり、利用者が減少してきている。

- ・ 中高生の利用が少ないこともあり、小学生との異年齢交流が困難である。
- ・ 夕方以降の中高生の利用がほとんどない。コロナ以降、利用率がさがっている。

#### ▶ コロナ禍における施設管理・運営の工夫が必要

- ・ コロナ禍における適正な管理運営

### 3) どんなつながりや取組があれば、訪問先の活動がより豊かになりそう？

#### ◆施設を飛び出して、近隣の施設、農家、公園などの資源と連携した学習や交流の機会ができる と良い

- ・ (困っている印象はあまり受けなかったが) こども文化センターを拠点として、子どもと大人や高齢者の多世代交流があるとより盛り上がると思った。
- ・ 外に出る活動がOKであれば(黒川の青少年の家等の実績があると聞きました)、JAと協力して、地域の農家さんなどの敷地で体験学習等のイベントができると楽しそうだと感じた。
- ・ こども文化センター内の事業等は充実しているので、近隣施設、資源とのコラボを通じて、施設外における子どもを中心とした活動が広がっていくとよい。
- ・ 屋外で制約の少ない公園の活用をお勧め致します。
- ・ いこいの家に通う高齢者や菅の里中庭プロジェクトに関わる人の強みを生かした(昔遊び、絵画など)イベントの開催。

#### ◆Team SUGE メンバーの施設を、子どもたちが回るイベント

- ・ ハロウィンを菅のプロジェクトメンバーを巻き込んで実施する。子どもたちが各施設などを回るなど。

#### ◆子ども食堂、寺子屋事業などと連携し、子ども関連の活動のハブになる

- ・ 寺子屋事業との一元化。子ども食堂との連携。地域の子どもの関連の活動のハブとした機能が持てないか。

### 4) 応援メッセージ

- ・ 館長さんや職員さんが落ち着いて温かい雰囲気よかったです。多様な経験ができる場所として貴重だと思うので、大変だと思いますが応援しています。
- ・ 全ての子どもたち等が、こども文化センターを必要としているかは分かりませんが、確実に居場所等として必要としている方々がいると思うので、引き続きの発展を願っています。
- ・ 是非、お近くの菅公園を活用して下さい。
- ・ 久々にこども文化センターに行き、遊んでいた日々を思い出しました。

## 菅いこいの家

### 1) 訪問先について、良いな！と思ったこと

#### ●建物内のこども文化センターと近くの地域包括支援センターとの交流や関係性があること

- ・お祭りなどの機会を捉えて、いこいの家講座の受講者がこども文化センターの利用者に教えるなど、多世代交流の意識が高いこと
- ・こども文化センターと合築のため、身近に世代間交流を行う場がある。
- ・こども文化センターはもちろん、地域包括支援センターとも顔の見える関係づくりができていること

#### ●部屋が多くて充実していること

- ・利用可能な部屋等、ハード面が整備されている。
- ・集まることのできるお部屋がいくつもあること。

#### ●稼働率が高いこと

- ・ほとんどのお部屋と日程が埋まるほど活発になっていること。
- ・一か月利用団体がビッチリ入っていること。

#### ●利用者のニーズに沿って管理運営がされている

- ・利用者のニーズに沿った管理運営が行なわれているようであった。

### 2) 訪問先の活動／団体は、どんなことに困っていた？

#### ▶コロナ禍による人数制限や行事の中止により交流の機会が減少していること

- ・コロナ禍により人数制限がかかり、活動に影響が出ている
- ・交流の機会が減少している。すげカフェの復活を望む声がある

#### ▶コロナ禍における施設管理・運営の工夫が必要

- ・コロナ禍のため、行事等の中止や利用者の人数制限、食事等が不可といった制約の中で運営していかなければならない。
- ・コロナ禍における適正な管理運営

### 3) どんなつながりや取組があれば、訪問先の活動がより豊かになりそう？

#### ◆生活支援コーディネーターとの連携による早期発見や支援や、地域活動の紹介

- ・80代以上の利用者が多いが、とても元気な方々であるので、小規模多機能事業所等に配置している生活支援コーディネーターとも連携ができると、早期発見や支援につながりやすくなるのではないかと（既に取り組んでいたらすみません）。

- ・元気な高齢者の方々の利用が多いと思われるので、その方々へ、地域活動等に携わることの周知や広報等が上手くできれば、人材発掘のきっかけとなるのではないか。(いこいの家というよりは、周囲の施設等が豊かになる意見となってしまいました)

#### ◆制約の少ない屋外の活用

- ・屋外で制約の少ない公園の活用をお勧め致します。

#### ◆こども文化センターとの連携やシニアの強みを生かし、伝統的な遊びなどを通じた子どもとの交流機会の創出

- ・いこいの家に通う高齢者の強みを生かした（囲碁、絵画、ダンスなど）イベントの開催。子どもと一緒に楽しみながら交流ができるような。
- ・囲碁を小学生におしえる活動をしてほしい。ゲームではなく、頭を使う伝統的な遊びを継承してほしい。
- ・（困っている印象はあまり受けなかったが）2階にこども文化センターがあるという強みを生かした多世代交流。

## 4) 応援メッセージ

---

- ・入館してすぐ目の前に飛び込んでくるビリヤード台が印象的でした。今後高齢化が進展し苦勞が多くなると思いますが、引き続き応援しています。市・区役所ともぜひ情報共有・連携させてください。
- ・多くの高齢者が集える場所であり、これからもより安心して利用できる、文字通り「憩える家」となるよう願っています。
- ・是非、お近くの菅公園を活用して下さい。
- ・様々な講座が開かれていて、その日を楽しみにしている方がたくさんいるのではないかと思います。

## D コース

### 公園体操（菅なかよし公園）

#### 1) 訪問先について、良いな！と思ったこと

##### ●健康促進や安否確認だけではなく、情報交換や声かけを通じて関係づくりができています

- ・運動機能の低下防止
- ・安否確認が出来る
- ・多くの方がリピート参加し、互いの安否確認の場となっている。
- ・情報交換が出来る
- ・しっかり 30 分体を動かして、心身ともに健康になれるところ。
- ・声を掛け合う関係づくりを目指しているところ。ウォーキング、花見、お茶会、行こうとしては広げていきたい様子がうかがえた。
- ・いきいきと楽しそうに体操しているところ。

##### ●いつでも誰でも飛び入りで参加できる雰囲気

- ・定期的に参加する人だけでなく、誰でも飛び入り参加できる
- ・公園という誰でもアクセスできる場所で、いつでも誰でも気軽に参加できる。
- ・誰でも歓迎の雰囲気で友好的。

##### ●区の講座を受けた地域住民が中心になって運営していること

- ・地域住民が中心となり長年続いている。
- ・区が行った養成講座などを受講した住民メンバーがそれを活かして活動できている。
- ・小さな公園に多くの参加者が集われていた。稲田公園の市村さんが活動の応援をされておられた。体操後の散歩など工夫がなされていた。

#### 2) 訪問先の活動／団体は、どんなことに困っていた？

##### ▶コロナ禍で、体操後の交流ができていない

- ・コロナ前は体操が終わった後に、散歩に行ったり、お茶をしたりしていたが今は出来ず、直ぐに、みんな帰ってしまう。
- ・コロナ禍前は、体操の後に別のイベントなどを行って交流がはかれていたが、それができなくなっている。

##### ▶コロナによって参加者が減ってしまった

- ・コロナによって参加者が半分位になって減ってしまっていた。
- ・以前はたくさん人が集まったが、今は少ない
- ・コロナ禍以降、参加者が減ってしまって戻っていない。

- ・コロナ以降の、人数の減少。加えて、意欲が失われているように思えるという参加者が、なかなか誘いに乗ってきてくれない。
- ・参加者の高齢化。コロナ禍における適正な運営

#### ▶運営を担うボランティアリーダーが減ってしまった

- ・ボランティアリーダーの方が一人少なくなってしまった。

#### ▶男性や若いシニアの参加が少ない

- ・男性の参加者が少なかった。
- ・男性や若い世代（60代など）の参加が少なく、新たに呼び込むことはできないか。（よく聞く団体の高齢化問題だが、実際はそれほど困っている感じではなさそう。楽しくやっていた。）

### 3) どんなつながりや取組があれば、訪問先の活動がより豊かになりそう？

#### ◆保育園や高齢者施設の利用者に参加してもらう

- ・保育園や高齢者施設の利用者様が参加出来たら良いと思うが、時間が早いのでなかなか難しいように思う。
- ・保育園の子どもたちのお散歩コースで、できればいっしょに体操する。

#### ◆体操後に施設やそこでのイベントに行き交流する

- ・また、逆に体操後に施設に行き、交流するのも良いと思う。
- ・当事業所のイベントのチラシ等を体操の日にお配りする。体操後や、当事業所のイベントに遊びに来て欲しいです。

#### ◆体操後に交流の時間を設ける

- ・もうされていると聞きましたが、公園体操後、ウォーキングやお茶タイムへと交流を広げていけるといいなと思いました。
- ・参加者の中にはいろいろな活動に参加されている方がいると思うので、体操だけでなく、短くても会話の時間（情報交換の場）をもち、新たな横展開に繋がる情報を得る場をつくる

#### ◆公園体操同士のつながりを強め、参加者を増やす取組を進める

- ・管地域の公園体操のネットワークを強め、ほかの公園と連携して、イベントなどを行っていく⇒ 体操参加者を増やすことと、現在の参加者のつながりを強めていくため。
- ・男性や若い世代の方の参画があれば更なる活動の活性化が図られるのでは。
- ・皆さんの明るい元気なパワーを分けて下さい

#### ◆担い手やボランティアの育成をする

- ・リーダーのなり手を増やすため、社協のボランティアセンターと協働して、健康づくりボランティア養成の講座など開催。
- ・保育園の野菜づくりボランティアの募集。

## 4) 応援メッセージ

- ・体操後や、当事業所のイベントに遊びに来て欲しいです。皆さんの明るい元気なパワーを分けて下さい
- ・健康によいと思うのでずっと続くようにと思います。
- ・仲間を増やして活動を継続していかれるよう、協力させていただきたいです。
- ・更なる公園の活用や愛護会との交流をされてはいかがでしょうか。
- ・元気の秘訣は、適度な運動と人と顔を合わせるることとのこと。無理ないペースで続けてください。

## 管保育園

### 1) 訪問先について、良いな！と思ったこと

#### ●保育園による絵本の貸し出しがあって良い

- ・絵本の貸し出し
- ・絵本の貸し出し。お散歩のママさんたちにおすすめの絵本パックを貸していて利用者も一定程度はいる。

#### ●園児による野菜づくりが行われていること

- ・園児たちによる菜園がよい
- ・園内の畑やプランターで野菜を育てている。

#### ●立地が良い

- ・商店街の中のみんなが立ちよりやすい場所にある。
- ・駅から近いこと。
- ・周囲が住宅に囲まれており、通行人からの視界は遮られていて、不審者からの目線の心配がなさそう。

#### ●多くのみどりがあり、地域に園庭が開放されていて、敷地が有効活用されている

- ・地域の親子への園庭開放を行っている。
- ・多くの「みどり」を取り入れるなど、敷地を有効活動していた。

#### ●多世代交流などの取組がコロナ前には行われていたこと

- ・多世代交流など様々な取り組みが行えている（コロナ禍以前）

#### ●子どもたちが元気

- ・子どもたちの元気なパワー

## 2) 訪問先の活動／団体は、どんなことに困っていた？

---

### ▶ 菜園の場所が悪くなく、野菜がうまく育たない

- ・畑の実がならない
- ・菜園の場所が悪くなく、育ちにくいいため、プランターにて最適な場所を求めて園内を移動している
- ・畑で作物が育たない。
- ・菜園での野菜がうまく育たない（イモ類など）
- ・野菜づくりがうまくいっていない。
- ・北側にある小さな畑の作物の生育が悪い（味がいまひとつ）。園児に喜んで収穫できるものが作りたい。

### ▶ コロナ以前に行えていた世代間交流の取組が実施できていない

- ・世代間交流が出来ない
- ・地域、世代間交流がコロナでできなくなった。
- ・コロナ禍以前は行えていた多世代交流などが行えなくなっている。
- ・コロナ禍での地域交流行事の縮小。園行事も人数制限し縮小。
- ・コロナ禍における適正な管理運営

### ▶ 建物が老朽化している

- ・建物の老朽化

## 3) どんなつながりや取組があれば、訪問先の活動がより豊かになりそう？

---

### ◆ 農業技術支援センターや菜園ボランティアなどに協力を仰ぎ、アドバイスをもらう

- ・畑の悩みは農業技術支援センターの方にアドバイスをもらう。または、はぐるまさんも畑を持っているので、一緒に行うとか
- ・畑指導をしてくださる方がいるといいです。
- ・菜園のボランティア（特に農業経験者の人）を集め、協力してもらう。
- ・緑化センターや、農業技術支援センターのアドバイスを受ける。公園体操のメンバーにボランティアをお願いする。
- ・園芸等の知識を持った方からのアドバイス

### ◆ 高齢者施設の利用者と園児の交流を園庭で行ってみる。同じ空間にいただけでも良い

- ・当事業所のご利用者様を何名かお連れし、庭で交流出来たらと思います。
- ・コロナ禍で人との接触が難しくはあるが、高齢者施設での保育園の園児の方々での発表（なにか踊りや園芸など）を企画していく。
- ・高齢者施設との交流が難しい時期だが、園庭で元気に遊ぶ子ども達の様子を見るだけでも楽しい。高齢者に来園してもらい、庭の隅に用意した椅子から遊ぶ様子を見てもらってみては

## 4) 応援メッセージ

- ・交流を是非、実現したいです。当事業所にも遊びに来て頂きたいです！！
- ・子どもたちがコロナ禍でも楽しく健やかな時間を過ごせるように地域で応援したいです。
- ・是非、お近くの公園を活用するとともに、管理運営協議会や愛護会と交流されてはいかがでしょうか。
- ・近所の農業技術センターには作物のプロがいます。子ども達も巻き込み、相談してみてもいかがでしょうか。

## 花織たま北

### 1) 訪問先について、良いな！と思ったこと

#### ●地域の誰でも無料で利用できる地域交流スペースがあること

- ・交流スペースが有る
- ・交流スペースの利用が誰でもできる
- ・地域交流に力をいれているところ。
- ・地域交流スペースを全くの無償で貸し出しをしている。
- ・無料で部屋を借りられる
- ・打ち合わせや集まることができる地域に開放されたお部屋があること。

#### ●懐かしいジュークボックスがあり、楽しそう

- ・ジュークボックスが有る
- ・ジュークボックスから出る丸い感じの音が素敵(懐かしかった)
- ・ジュークボックスが懐かしく、楽しそう。

#### ●将棋という趣味を通じた集まりがある

- ・将棋の会からの広がり楽しそう。
- ・将棋の会ができ、10人ぐらいの人が集まっている。

#### ●生活支援コーディネーターなどの専門家が、困りごとの相談に乗ってくれる

- ・生活支援コーディネーターがいる。
- ・住民の困りごとの相談受け口になっている。

#### ●地域社会のニーズに柔軟に対応するという方針があること

- ・地域社会のニーズに柔軟に対応する方針が確立されていた。

## 2) 訪問先の活動／団体は、どんなことに困っていた？

---

### ▶地域交流スペースが知られていなく、活用がされていない

- ・交流スペースが活用出来ていない
- ・使用出来ることが浸透していない
- ・せっかく無償貸出をしている地域交流スペースの利用者が増えていかない。
- ・交流スペースの活用
- ・コロナ前は色々な活用がされていたが今は…
- ・コロナ禍により、少々行き詰まり
- ・地域開放室の運用に試行錯誤をされている様子。
- ・コロナ禍における適正な管理運営

### ▶生活支援コーディネーターの周知と地域とのつながりづくりが難しい

- ・生活支援コーディネーターとしての役割
- ・生活支援コーディネーターとして地域とのつながり作りをどう行っていくかで悩んでいる。
- ・生活支援コーディネーターの周知。

### ▶駅からのアクセスが遠い

- ・場所が一寸遠い
- ・場所が（駅から）遠い。

### ▶困りごとをきっかけにつながりを探している

- ・困りごとからつながりのきっかけを探していたので、困りごと探しをしていると思った。

## 3) どんなつながりや取組があれば、訪問先の活動がより豊かになりそう？

---

### ◆地域交流スペースを活用した講座やイベントを開催して、存在を大々的にアピールする

- ・とてもきれいな交流スペースなので、自信を持って、大々的にアピールすると良いと思います
- ・毎週イベントを開催し、近隣に周知して頂く。また、近隣施設、当事業所もイベントを考え有効活用する
- ・地域交流スペースを単にレンタルスペースにするのではなく、地域住民が求めているような講座やイベントなどを開催して（それをだれがするのが問題ですが）
- ・地域の方々が交流室を活用できるといいなと思いました。
- ・更に広い地域への広報等による周知が利用者の拡大に繋がるのでは。

### ◆公園体操やウォーキングの立ち寄り場所／終着点にするなど、場所を中心に人がつながるよう なしくみをつくる

- ・場所を中心に人がつながるようなしくみをつくっていく。

- ・公園体操の集まり場、ウォーキングの終着点。
- ・近隣の公園体操終了後の立ち寄り場所として周知をしてみてもは。
- ・ウォーキングサークルに声掛けし、ルート上に施設を設定してもらい、休憩スポットとして活用してもらっては。

#### ◆民生委員児童委員協議会と連携する

- ・民児協(民生委員児童委員協議会)との連携

## 4) 応援メッセージ

- ・何かお手伝い出来ることが有れば協力します。活用しましょう！！
- ・地域交流続けてください。近くへお散歩に行った際は、交流室を使わせていただきたいです。
- ・地域のために場所等様々な資源を提供されているので、もっと地域に知らせていきたいです。
- ・是非、お近くの公園を活用するとともに、管理運営協議会や愛護会と交流されてはいかがでしょうか。
- ・なかなか活用できていない場所ということでしたが、貸出実績は多岐に渡っている印象を受けました。開放を続けることで地域の立ち寄り所になるのでは？

## ヒューマンライフケア 多摩の宿・多摩グループホーム

### 1) 訪問先について、良いな！と思ったこと

#### ●地域住民とのつながりや交流を大切にしていること

- ・地域とのつながりを大切にされていて、地域密着型ということで様々なイベントがあるところ。
- ・地域住民との交流を積極的に求めている。
- ・高齢者の行き場の選択肢になっている。地域とのつながりを持ちたいと思っている。

#### ●防災訓練、パンの移動販売や行事など、コロナ禍でも入居者が楽しめる行事や企画を実施している

- ・利用者による防火訓練の実施
- ・コロナ禍で制限のある中でも入居者の方を楽しませる行事をしている。
- ・駐車場でのパンの移動販売の取り組み。
- ・利用者が楽しげに施設を利用されているようであった。
- ・入所者の外出機会減をカバーするため、工夫して季節行事やパン移動販売などのお楽しみイベントを企画していた。

## 2) 訪問先の活動／団体は、どんなことに困っていた？

---

### ▶近隣の施設との交流がない

- ・近隣の施設同士の交流がない。

### ▶コロナ禍で地域との交流や連携が行えていない

- ・コロナ禍で地域との接点が少なくなっている。
- ・地域密着とうたっているが地域交流ができていない。
- ・防災訓練など災害への取り組みを地域と一緒に行いたい、難しい。
- ・地域交流の機会が減っていること。
- ・コロナ禍における適正な管理運営

## 3) どんなつながりや取組があれば、訪問先の活動がより豊かになりそう？

---

### ◆自主防災組織に協力を依頼する、帰宅困難者の受け入れを行うなど、防災の取組からつながりを広げる

- ・施設のある場所の自主防災組織の方に相談をして施設の防災訓練に協力いただく。
- ・施設内部に地域の避難困難者の受け入れなどを検討していく。
- ・近隣施設（はぐるま）との合同消化訓練の実施や施設駐車場を開放した移動パン屋（はぐるま商品出張販売）の実施など。

### ◆近隣の施設や事業所と連携して、訪問する・訪問してもらうきっかけをつくる

- ・散歩コースとして、はぐるまや花織さんへ出かけて、楽しみをつくる。
- ・管保育園とのコラボで、保育園園庭への訪問をしてみてもいい。
- ・類似施設が近くに集まっていることから、連携することが、よりコミュニティの強化につながるのでは。

## 4) 応援メッセージ

---

- ・パン屋さんの来る日に行ってみたいです。
- ・地域との交流を積極的に行っていきたいという職員の方々の意欲がすばらしいと思います。
- ・是非、お近くの公園を活用するとともに、管理運営協議会や愛護会と交流されてはいかがでしょうか。
- ・周辺にも交流を求めている施設はあります。施設独自の楽しい企画の発信を続けてみてください。

## はぐるま共同作業所「みらぼ」

### 1) 訪問先について、良いな！と思ったこと

---

#### ●新しい施設が綺麗。屋上があり、食事ができる

- ・きれい！！
- ・今年完成した綺麗な施設
- ・屋上が有る
- ・新築の建屋であり、屋上を含め利用し易い設備が整えられていた。
- ・食事が出来る

#### ●多目的スペースを地域に貸し出していること

- ・多目的スペース、仲間自治会室があるところ。
- ・多目的ホールの貸出
- ・地域にも貸出可能スペースあり。

#### ●地域とつながる仕掛けが建物のハード面と取組のソフト面の両面で行われている

- ・地域住民に建物や活動の中身見せるような工夫をしている。(カフェ、ショップ運営など)
- ・利用者さんたちで周辺地区の清掃活動など地域貢献を行っている。
- ・災害時に地域の避難困難者への建物開放(民生委員と協働して避難困難者の受入れを検討)

#### ●利用者の作品が販売されていること

- ・利用者様が作った素敵な品が販売されている
- ・作業場の傍に、作ったものを売る場所がある

#### ●利用者がいきいきと、目標と自信をもって、個性を活かして仕事している

- ・興味深い作業がいろいろあって、皆さんがいきいきと仕事されていたところ。
- ・目標を持って働いている
- ・自分の作業について自信を持っていて、説明ができる
- ・利用者の方が個性を活かして活動されていた。

#### ●共生社会の理念が良い

- ・共生社会の理念

### 2) 訪問先の活動／団体は、どんなことに困っていた？

---

#### ▶新しい施設を活用してほしい

- ・屋上スペース、ホールを活用して欲しい
- ・食堂では調理も出来るので活用して欲しい

- ・屋上や多目的スペースなどをもっと地域の人と一緒に活用できるのではないかな。

#### ▶障がいのある人の活躍の場の創出と地域の理解を深めること

- ・障害当事者の活躍の場と地域への啓蒙。

#### ▶工夫しながら施設運営をしている

- ・コロナ禍における適正な管理運営
- ・困った印象はなく、工夫されながら施設運営をされている様子。

### 3) どんなつながりや取組があれば、訪問先の活動がより豊かになりそう？

---

#### ◆新施設を活用して、交流を目的としたイベントや事業を近隣施設との合同で開催する

- ・当事業所や近隣施設との合同イベントの開催。そこからご家族様との交流
- ・高齢者事業所、保育園との合同のイベント。
- ・学校のこどもたちや、地域の高齢者など、はぐるまの利用者の方々と交流できるイベントの共同企画を行っていく。
- ・もう取り組まれていると思いますが、多目的室の貸し部屋などの利用、レストラン利用を通じて地域交流が活発になるといいですね。
- ・各事業所の生ごみ回収（いずれ）。

#### ◆新施設の貸し出しについて PR する

- ・多目的スペースの利用の宣伝拡大
- ・カフェや多目的スペースなどで菅地域の団体などにイベント開催などに貸し出す。
- ・はぐかふえ、みらぼマルシェの宣伝

#### ◆菅地区内のイベントや近隣施設に出店して、利用者の活躍の場を増やす

- ・菅地域の中でイベント等の機会に自社製品の出店を増やしていき、利用者の方々が活躍できる場を地域の中に増やしていく。
- ・近隣で地域交流を求めている施設があれば、訪問販売などで、はぐるまの活動を PR してみてもいい。

#### ◆地域でのボランティア機会を増やしていくことで地域貢献につなげる

- ・公園における愛護活動と連携することにより更なる地域貢献に繋がるのでは。
- ・利用者たちのボランティア活動をより活発にしていき、逆に地域住民にもはぐるままでのボランティア活動を企画していく。

### 4) 応援メッセージ

---

- ・ご近所なので、気軽に遊びに来て下さい。協力出来ることが有ればお声掛け下さい！！
- ・菅社協の「社会福祉のつどい」での活躍、お疲れさまでした

- ・レストランにランチでお邪魔したいですし、コンポストで肥料が作れるようになりましたら、分けていただけると嬉しいです。
- ・共生社会を目指して、具体的な取り組みを行っておられるのが素晴らしいと思います。
- ・是非、お近くの公園を活用するとともに、管理運営協議会や愛護会と交流されてはいかがでしょうか。
- ・施設がおしゃれで素敵。長年この土地で活動が続けられ、周囲とも良好な関係があるかと思えます。これからもオープンな活動をごんばってください。

## E コース

### 寺子屋ひがしすげ

#### 1) 訪問先について、良いな！と思ったこと

##### ●誰でも公平に学ぶことができる

- ・ボランティアで様々な方が参加しており、説明で型にはまらない授業と表現があったが、子ども達が普段知るきっかけのないことを貧困差関係なく学べる。

##### ●子どもたちの家と学校以外の、「素」でいられる居場所になっている

- ・こども達の居場所、息抜きの場所
- ・こども達はここでは素を出す
- ・学校、家では話せないことを話してくれる
- ・学校でできないことができる
- ・学校とも家庭とも違う、第3の場所になっており、子どもの違う一面を出せる場所になっている。
- ・子どもの特性に合わせて、学校ができないことの手伝いができていること
- ・子どもたちが自宅や学校で見せない表情が見られる
- ・子どもにとって、わくわく以外の居場所になっていること
- ・プリント学習を行っているが、学力アップよりは居場所としての機能

##### ●子どもが地域の大人や高齢者と交流して顔見知りになるきっかけになっている

- ・地域の人と顔見知りになる
- ・地域との繋がりもできていると感じた
- ・地域住民が先生なので、普段町の中でも接することがある。
- ・学校、家庭以外で子どもと大人の交流があるところ。
- ・地域の大人、高齢者様々な世代の交流の場になっていた。

##### ●住民が先生になることもあり、得意分野を活かせる場や生きがいづくりになっている

- ・地域の資源（シニア層、教職希望者など）を有効に活かしている。
- ・退職後の住民が先生となっていることがあり、生きがいづくりにもなっている。
- ・先生が自分の得意分野（星の話など）で特別授業をすることがある。

##### ●先生通しのつながりづくりになっている

- ・寺子屋を通して、先生どおしのつながりができたこと。（出会いの場となっていること）

##### ●わくわくプラザとの連携が取れている

- ・わくわくとの連携がとれていて、包括的にこどもの放課後を支えている。

## 2) 訪問先の活動／団体は、どんなことに困っていた？

---

### ▶ コロナの影響もあり、地域に先生／人材の確保が難しい

- ・ コロナの影響による人手不足
- ・ 先生の成り手がいない
- ・ 先生は多ければ多いほどいいが、それほど十分な数はいない。体験教室の講師の確保も困っている。
- ・ シニアの方がコロナで辞めてしまい、人手が少ないこと
- ・ 寺小屋先生のなり手が少ない
- ・ 地元で人材が見つからない。地域の方に手を挙げてもらいたい。
- ・ 先生の人材の確保（先生になる人が高齢の方が多いので、コロナ禍で辞める人が出て減っている）
- ・ 寺子屋の先生となる人がなかなかいないところ。
- ・ 人材の確保に困っていた。
- ・ 教員資格は不要
- ・ 特別な資格は不要ということで、無料の研修も用意されていたが、なりては常に不足している。
- ・ 体験教室の先生、体験内容が広がらないところ。

### ▶ コロナによって、子ども（とくに低学年）の人と接する力が影響されている

- ・ コロナ影響が大きい
- ・ コロナ禍が特に低学年のこどもたちに深く影響を及ぼしている。人との接近距離など

### ▶ 給食がない日は開催できない

- ・ 給食のない日は開催ができない。

## 3) どんなつながりや取組があれば、訪問先の活動がより豊かになりそう？

---

### ◆ 公共施設、高齢者施設、町会、商店街など様々な組織の協力を得て、先生の募集や養成講座のチラシを配布してもらおう

- ・ 養成講座のチラシ→いこいの家などで配付
- ・ 先生募集などに菅町会のHPが使えないか→菅町会との密な連携が必要では
- ・ 区社協として協力できそうなことは近隣のいこいの家に寺子屋先生募集のチラシを置くことや、ボランティア相談で児童を対象にした活動をしたいという希望があった場合に団体に繋げることがいいかもしれない。
- ・ 公共施設の繋がりだけではなく、近隣商店や町会を巻き込み今迄に興味がない方にも情報を伝えていく方法が必要かと思われます。
- ・ シニア世代の潜在的な資源（先生）を発掘するため、いこいの家や高齢者施設のご家族にも広報をする。

- ・先生は今のところは多いほどよいとのことなので、地域に向けて広範囲に募集を行う。
- ・高齢者の集まりなどでのボランティア募集。
- ・多摩区ボランティアセンターでのボランティア募集など

#### ◆子どもの体験として、高齢者や障がい者施設、保育園などの訪問と交流

- ・体験としては、高齢者や障害者施設、保育園への訪問と交流などは。
- ・子どもたちはいきいきと楽しそうにしていた。出席率もよさそうで現在の内容でも満足しているのではないかと感じた。特に体験教室は内容が充実しているので、継続するといいと思う。

## 4) 応援メッセージ

- ・運営が大変そうですが頑張ってください
- ・こどもたちの放課後、安心して充実して過ごせる環境づくりがすばらしいと思いました。
- ・参加している児童さんたち、みんな元気でいきいきとしていました。
- ・活動の様子をみて、需要もあってやりがいを感じられるものだということが伝わってきた。是非今後も続けてほしい。

## 南菅こども文化センター

### 1) 訪問先について、良いな!と思ったこと

#### ●敷地内の畑で子どもと野菜を栽培し、みんなで食べる機会をつくっていること

- ・南菅こども文化センター農園→採れた野菜で年末の大掃除に皆でカレーに
- ・みなみすげ農園として野菜の栽培を継続している。
- ・畑を活用していること
- ・畑もあり、自由に利用できる
- ・敷地内の畑でこどもたちと一緒に野菜づくりをしている。それを調理してみんなで食べることもしている。

#### ●安全な帰宅ルートのマップ作成や、駆け込める場所になど、子どもの安心・安全を推進している

- ・安全マップの作成。毎年テーマを持ちながら追加
- ・地域の人達とこどもたちの帰宅ルートなどの安全マップを作製している。
- ・こども110番になっている
- ・地域の子どもが困った時に駆け込んでもらえる場所の一つになっていること

### ●子どもに限らず、大人も卓球などに利用できること

- ・子どものいない時間は大人も活用している
- ・子ども以外が利用できていること（卓球、朗読など）
- ・集会室での運動(卓球)
- ・大人も午前中などに卓球などで利用している。

### ●e スポーツなどを通じて、子どもが大人に教えるなどの多世代交流に取り組んでいること

- ・子どもが大人に教える取組を検討していること（e スポーツなど）
- ・多世代交流の新たな取組みとして e スポーツをこども文化センターでやれる体制を作っていく話が特に印象に残った。自分も含めてゲームが身近な世代が年を重ねた時、IT や SNS、e スポーツ等は重要な多世代交流ツールに思えた。
- ・お年寄りとの交流もできる

### ●中高生が勉強の場として活用している

- ・中高生までが利用できる。
- ・中高生が試験前に勉強場所としていることに驚いた。

### ●子どもが来て遊び、運動、学び、交流できる良い環境

- ・学校のあと、こどもたちがランドセルのまま来ることができる。
- ・取り組む事柄が多く大変だと思ったが、子どもにはとてもいいと思った。
- ・屋内で竹馬をすることに大変びっくりさせられた。

## 2) 訪問先の活動／団体は、どんなことに困っていた？

---

### ▶コロナ以降、子どもの怪我が増えている

- ・ケガが続いている。近くの公園などでのケガなど
- ・コロナ以降、子どもの怪我が増えたこと
- ・コロナの影響が大きい
- ・コロナ禍以降こどもたちの活動に多大な制限がかかり、それが影響を及ぼしている。

### ▶コロナ以降、子ども同士で食事ができない

- ・黙食の影響？
- ・黙食の強制が行われていたため、こどもたち同士で食事をするなどが難しくなっている。

### ▶学校の授業中や夜間に施設を開放しているが、利用が少ない

- ・夜間の活用を要望
- ・せっかく夜間も開けているのに利用がない。(中学生などのための時間)
- ・学校の授業時間の間貸室をしているが利用者が少ないので活用してほしい。

▶多様な取組に対して施設職員が不足していて、実施できない事業もある

- ・人材不足。中高生の試験前の勉強など
- ・スタッフ不足。
- ・こども文化センターで働く人材が欲しい。(人がいないとできない事業もある)
- ・先生となる人がいない。
- ・人材不足。
- ・職員やボランティアが不足している。
- ・取り組みが多岐にわたっていて大変そうである。

▶場所が分かりづらい

- ・場所がわかりづらい

### 3) どんなつながりや取組があれば、訪問先の活動がより豊かになりそう？

---

◆建物内いこいの家と連携して交流をはかる

- ・いこいの家との合同卓球大会。合同調理教室で育てた野菜でおかずづくりをいこいの家の利用者に習う。
- ・既にいこいの家の利用者がこども文化センターで講座を行ったり、こども文化センターが作っている畑に作物のアドバイスをしたりと連携はしている。コロナで飲食の規制が緩和されれば、これからイベントなどで連携を行いたい。

◆寺子屋とこども文化センターの担い手（先生／職員）の交流や連携ができると良い

- ・寺子屋とこども文化センターの担い手の交流や連携

◆過去の利用者や先生のつながりを活用して、取組を発信していく

- ・公共施設の繋がりだけではなく、近隣商店や町会を巻き込み今迄に興味がない方にも情報を伝えていく方法が必要かと思われます。
- ・OB,OG や先生の知り合いなどを通じて、新たな取り組みもあるようだったので、そういった機会を逃さないようにできるといいと感じた。

◆夜間など、利用を増やしたい時間帯にイベントを開催して発信する

- ・夜間に何等かのイベントを開催し、そこで地域の人に夜間に利用できることを広報する。

### 4) 応援メッセージ

---

- ・運営が大変そうですが頑張ってください
- ・部屋や設備があり、こどもたちがさらに増えてくれるよう、地域で連携したいと思いました
- ・農園がとてもきれいに管理されていました。
- ・子ども110番の拠点として多くの相談があると聞いた。遊びの拠点や相談の拠点として今後も応援したい。

### 1) 訪問先について、良いな！と思ったこと

---

#### ●講座やサービスが充実している

- ・ マッサージの施術→現在、休止中
- ・ 市の事業で無料マッサージの日がある。
- ・ 種々の講座あり
- ・ 講座の内容も充実

#### ●利用団体の活動が活発で、充実・自立している

- ・ お年寄りの寄り合いどころになっている。習い事のサークルで利用率が高い。初心者コースもある。
- ・ 団体に利用されているサークル活動が充実
- ・ 活動が活発で、自立しているところ。

#### ●建物内のこども文化センターと交流があること

- ・ こども文化センターとの交流があること

#### ●利用できるスペースが多様

- ・ キッチン、訓練室、和室などいろいろなスペースがある。

### 2) 訪問先の活動／団体は、どんなことに困っていた？

---

#### ▶コロナで利用団体の活動が減ってしまっている

- ・ 以前は大勢来ていた囲碁の会の人たちがコロナ禍以降減ってしまい、戻らない。
- ・ 囲碁など来なくなった人が多い
- ・ コロナになり、活動が低調
- ・ コロナ前と比べて利用者が減っているところ。

#### ▶コロナ禍で来れなくなってしまった利用者のケアが心配

- ・ コロナ後の来れなくなった人のケア。
- ・ コロナの影響が大きい

#### ▶提供している事業や施設のサービスが知られていない

- ・ 寄合処があまり知られていない
- ・ 夜間にも貸出をしているが、地域の人の利用がない。

#### ▶場所が分かりづらい

- ・ 場所がわかりづらい

### 3) どんなつながりや取組があれば、訪問先の活動がより豊かになりそう？

---

#### ◆寺子屋の先生養成講座を、いこいの家で開催する

- ・寺子屋先生講座を開いて興味のある方を募る。

#### ◆スペースの貸し出し以外に、講座やイベントを企画し、利用促進する

- ・スペースの貸出以外に、その場所を使った講座やイベントを企画し、立ち上げていく。
- ・コロナ禍で利用人数に制限があるため、すぐには難しいかもしれないが、高齢者のための認知症カフェなど。
- ・17時以降の利用もあるといい。

### 4) 応援メッセージ

---

- ・運営が大変そうですが頑張ってください
- ・お部屋も広く、とてもよい環境にあるので、私たちの方でも高齢者の方をつないでいきたいと思います。
- ・講座が粋いっぱいにもまれていて、シニアの活動が活発で、うまく機能しているなと感じました。

## 川崎市多摩スポーツセンター

### 1) 訪問先について、良いな！と思ったこと

---

#### ●利用料金が安く、長時間利用できて、利用しやすい

- ・利用料が安価で利用しやすく
- ・低料金で利用できる。
- ・早朝から夜間まで長時間市民が利用することができる。

#### ●屋内外に多種目の専門的な施設・設備が充実している

- ・広いスペースがある。
- ・屋内、屋外ともに施設が充実している。
- ・野球場：4月～10月：0600～1800 早朝から対応
- ・29種目：1,000名弱が利用
- ・野球場、テニスコート、アーチェリー場など各種目に対応した専門的な設備がある。
- ・可動式のプールでどんな人にも使える仕様。

#### ●地域とのつながりがあり、地域イベント等に積極的に参加していること

- ・ふれあいまつりなどのイベントに館長が講師として呼ばれ活躍していること

- ・地域との繋がりもある

### ●プロスポーツとの連携が進んでいる

- ・プロスポーツとの連携が進んでいるところ。

### ●利用者が多いことが印象的

- ・非常に利用者が多いと感じた。多種多様のスポーツの日で選べるプログラムや新しいトレーニングルーム、工事中の新プールなど今後も利用者はコロナ対策緩和につれて増加していくだろうと思えるほど魅力を感じた。

## 2) 訪問先の活動／団体は、どんなことに困っていた？

---

### ▶コロナで利用者が減少しているが回復している

- ・利用者数が戻りつつある。2021年：21万人利用。過去最多は47万人の利用。コロナの時は、10万人弱
- ・コロナ後の利用客数の復帰。
- ・利用人数が減少していること
- ・コロナの影響が大きい

### ▶コロナ禍で利用の制限をかける必要があること

- ・コロナ禍で、感染対策が厳しくなっていたり、利用者からの要望もあり、利用人数やスペースに制限を設けざるを得ない。
- ・コロナ禍で施設利用の制限があるところ。
- ・制限解除の方法も難しい。

### ▶利用が少ない施設と、利用が多くて予約が取りづらい設備のバランスが難しい

- ・平日の野球場の利用が少ないこと
- ・設備によっては人気があり、なかなか予約がとれない状況。
- ・中体連や高体連、大学のゼミ等でも使うので、一般利用で広く門戸を開くか、このままにするか悩ましい。テニスコートの予約が30倍で、芝を休ませられないのでコンディションの管理が大変。

## 3) どんなつながりや取組があれば、訪問先の活動がより豊かになりそう？

---

### ◆地域貢献を充実する取組として、高齢者や障がい者を対象に、健康づくりに向けた教室やプログラムを企画する

- ・スポーツセンターが地域貢献として何ができるかを地域と考えていけると良い
- ・高齢者や障がい者への体操や機能維持のためのメニューの提供。単発ではなく、定例的な取り組みにできれば市としての健幸の取り組みになるのでは。
- ・地域の高齢者向けの定期的な教室を企画、開催する（低料金のもの。日中時間のある高齢

者がセンターを活発に利用できるとよいと思う)

- ・「認知症予防体操」など目的を明確化
- ・歩行訓練など（館内にコースを設定し）の開催。毎週みんなで歩いて、転びにくい歩き方を指導するなど

#### ◆地域の他の施設で出前講座を開催する

- ・地域の施設などでの出前講座の開催など

#### ◆人気のある卓球を切り口に、卓球を提供している施設でお互いの取組の周知を協力・連携する

- ・こども文化センターでもいこいの家でもスポーツセンターでも卓球がさかんに行われているということがわかった。利用者の行き来があることも実際に見たので、お互いのイベントや講座の情報などの周知には連携することもありかもしれない。
- ・地域で卓球が盛んであることが分かった。各施設掛け持ちの人もいそうなので、そういった人の繋がりでも各施設の人材確保にもつながると思った。

#### ◆地域の団体が施設を利用しやすい仕組みがつけると良い

- ・地域の団体がスポーツセンターの施設（野球場や体育室）を活用しやすい仕組みづくり

#### ◆プロスポーツとのつながりは継続できると良い

- ・プロスポーツとの繋がり、利用者にとっても魅力なので継続できるといいと感じた。

## 4) 応援メッセージ

---

- ・運営が大変そうですが頑張ってください
- ・地域の高齢者に向けての事業や取り組みで今後連携させていただきたいです。
- ・運動と縁がなくなって時間がたっているが、施設が充実しているので利用させてもらい、少しずつ運動したと感じました。
- ・多摩区だけでなく宮前区や近隣の区からも利用があるなど物凄い需要の高さを感じた。スポーツを通じた地域交流を応援したい。